

由良川沿流・晩秋の上谷



知井坂にて

晩秋の風に吹かれ

ひと昔前の山を思い出す  
あの日も葉脈の煌めき、落葉の感触、

何もかも変わらない、そんな山や峠が  
幾つ残っているだろう。

今、あの稜線に沈む夕日を見つめ  
今日一日の風景を回想する。

峠を下る私の足取りは  
背後の残照に映える紅葉の木々に  
幾度も立ち止まり、

いつしか、満天の星空の下  
帰路の最終バスを待つ。

初冬の光 (西賀茂水室町)



## 京都北山撮影紀行 ①

# 山 野 道 遙

—— 晩秋の山・残照 ——

撮影 北川 裕久



佐々里峠・落日





### 金毘羅山の石柱

平野 耕也

京橋 大原の西側にそびえる金毘羅山の山頂近く、一両三メートル程の不思議な石柱が立っている。

コンクリート製の丁亥を作り、江文幹を下に見おろす見附らしの良い所に建てられており、そこにハンブル（朝鮮の表音文字）が形よく彫られている。

「OCTOBER 1911」

この石柱、見ようによっては京都市内を展望しているようであり、また、はるか海の向こうに何かを呼びかけている風情でもある。

慶田と云つても美輪ほどに朝鮮語への関心を薄い私たち日本人にこの文字が読めるはずもなく、た

だあれこれ想像をたくましくするのみだが、あちこちの山の雑草や本の取り上げ方に多少の疑問がある。そこには悪意など少しもないのだが、やはり朝鮮の人に対して失礼など思われる面もあるので私の知る限りのことを書いてみた。

先ず、これがハンブルかどうかと言えは誰かにハンブルには違いない。京都にお住まいの在日朝鮮人のKさんによると「――読み方は古代朝鮮語の表記で『テオノイナカヌオオカイ』となっていて、まづ』とのこと。ただし『どういう意味か』というところは、現在朝鮮語辞典から引き出せません」という。

そして考古学研究の方にも尋ねていただいた。「地名なのか、人名なのか、当字のつもりだったのかよくわからないということでした。」とのこと。

もう一人ハガキで問い合わせた朝鮮関係のある雑誌の編集長さんにはある放送局でハンブル講座など

担当している専門家にまで問い合わせられて「ハンブル文字の組み合わせに不明なところがある」との返事。

それぞれ忙しいのに、見も知らぬ相手からの突然の便りに丁寧に返事を寄せていただいた訳だが、その親切ぶりには頭が下がった。そこに自分の民族の文化を少しでも理解してもらおうとする熱意を強く感じた。

さて、このままでは申し訳ない気がして再度金毘羅山に登って確かめた真相は次の通り。

江文幹から登って行く、途中に小さなたたずまいの社がある。

そこに中年の女性がひっそりと住んでいる気配なのでこの石柱のことを尋ねてみた。

この人、実は金毘羅山頂にある葦平宮にかかわりのある人で、疑問だけこの社を守っている大原在住の女性で、葦平宮のことや石柱のことなどあれこれ説明してくれた。



### 随想 (山のエッセイ)

それによる、あの石柱は十五年前、葦平宮の信者であった八十歳位のお爺さんが建てたものだと言ふ。どこからかやってきて葦平宮の信者になり、何晩もこもりきりになる位熱烈な信心ぶりだったらしい。そしてある晩何かの暗示があつたらしくあの石柱を建てたと言ふ。

文字はサンスクリットでアミノミナカヌシノカミと読むのがそのうである。

話としてはそこに一人の人間のひたむきな生きざかりが感じられる話だが、文字はどうみてもハンブルでアミノミナカヌシノカミニ「天之知中主神」「古事記」に登場する高天原で最初に生まれた神」と読めるはずもない。

ただ近くの岩に漢字でこの神の名を刻んだコンクリート製の石碑もあることから、いささか神がかつたこのお爺さんが、どこかで目にしたハンブルをこの神の名に出してはめて文字を刻んだというのが

真相らしい。

あるハイキングの木を立ち読みしていたら「はつきりと『アミノミナカヌシと読む』と説明してあつたが、それは少し朝鮮の人に対して失礼なのではないか。

そういう私自身も百分の無知から何人かの朝鮮の人達に対して時出と努力の無様をさせたようである。そんなことは言えないが――。



### 綺麗と美しい

北林 治

かつて私は、恐れを知らず画家を夢みて来る日も来る日も絵を描いていた時期があつた。

ジャンギヤヴァンに似た優しくおだやかな節・藤田鶴二郎画伯は、しかし、いつも厳しい批判をまわした。

先生のもとを離れてから、快心の一作「湖畔の赤松林の向こうに葉の花畑が明るく広がる」M20号の風景を描けて訪ねた。先生は、それを下塚に観てから、「君は、綺麗な絵を描くな。絵は美しく描くもんだ。」とだけ、ボソリと言われた。

努力と根気の無さを痛上げし、今でも才能の無さと貧困にして筆を折つてからも、日々暮しの中



随想 (山のエッセイ)

で「ふと」静慮と美しい」の違いについて思いを巡らす時がある。「静慮は思想的であり、美しいは心象的である。」と思ったり、「静慮は皮相的であり、美しいは本質的である。」と考えたり……

古生物学者の井原正一は「金のしずく、銀のしずく」(産地書誌)の中で、生物の系統発生をのべた後「静慮は社会的であり、美しいは生物学的である」とのべている一文に出会った。同じことを別のスタンスで考え続けていることへの驚きであったが、また納得出来ないうま味がある。

▼宇宙開発と軍事競争の副産物としての悪夢もあり、近世山のグッズも飛躍的に向上して来た。その質もさることながら、ファッション性も目を引くものばかりだ。海やケレンアに負けない華やかさである。

▼夏の履き分けがない一本のニツカと、キャブだけが取り柄のキスリング、メーカーも判らぬ登山靴で、どこへでも登りに出かけた時代と今はいささか異なる時代になっている。

しかし、どんなに装ったところで、風呂にも入れず、汗と垢と泥まみれの山行は、世評にも静慮とほいほいい。

▼思慮的に静慮に似たコマクサを、後発がうっかり踏みつぶさぬようにと、石で囲んで注意を促す先発の愛しさ。初冬の絶景で二人の背者がコーヒーを溶して飲みながら、「私は何も言わないのに」「本志にすみませんね。これが最後のコーヒーなんです。二人分しか残ってないんです。申し訳ありません」と何層も詫言ながら、それを吸っていたりする。

▼山が深く深くあればある程、厳しければ厳しい程、人は地上で忘れてきた人間としての本志の愛しさを取りもどすのではあるまいか。

▼樹皮やモルゲンコート、高山植物や風を集め、自然の大きさと感しきの中に身を置くことによつて、静慮とは別の、本質的な、心象的な、生物学的な愛しさを回復させるのではあるまいか。故郷田原三郎先生、画家にはなり得ませんでした。先生、心を大切に生きています。



天高くもみじ始まる

# 快晴の入道ヶ岳

稲垣 いつを

鈴鹿

「天気と相俟ってから出発できる」というのは、山とくつろぐに往々者の積りだ。最近は大気の汚れが進んでいるせいか、晴れていても道端のまかない日が少なくなっている。しかし今日は期待できそうだ。稲垣社のバス停から鐘屋峠まで約10キロの行程と、右手と急な石段の続く北尾根登山口がある。左手の林道脇に車を停めて身支度をする。午前9時、バス利用の登山客のまだまだやって来ない時刻だが、先客がいる。鈴鹿高原山岳部のパーティだ。三尾さんの引率のもと、北尾根のポツカ湖湖沿いという。1988年、インドヒマラヤ・マシロカシリ峠の登山に成功し、全国的に注目されているクラブだが、みんなまだあとがきが残っている。どこにそんな力が秘

められているのだろうか。同じくい込むザックを担いでちやうど出発するところだ。申し訳ないが、こちらは登山道に近いサブザック一つ。彼等と別れて井戸谷登山口へと林道を請める。

5分ほど大規模な湖の湖原に響く、河原を横切り、左前方の尾根に向かうのが二本松尾根コース。これは下りに残しておいて、更に林道をまっすぐに進む。入道ヶ岳への最短ルートは井戸谷コースだ。真新しい敷にツリフネンウが映っている。左手の暗い杉木立の中に「権山の家」が見えてくる。道は左にカーブしながらさつき湖の湖原の上部に出るが、ここが林道の終点である。

石に腰かけ、湖の静けさを眺め、下界に目をや

入道ヶ岳を行く山岳部員



ると、正岡や左巻右、小説「静慮」の舞台になった「神慮」が見える。この辺り標高約3000m、谷を降りた道をゆるやかに登っていくと、左手に小規模の見える谷におつかる。谷の右側に「井戸谷登山口」の標識が立っている。ここからいよいよ上尾根コースらしい道となる。30〜40年は経っていると思われる杉の密林の中をジグザグに登る。15分程で左に「山の池」の池をみる。ハナミョウ

入道ヶ岳から鏡ヶ岳を望む



ガの群生にこもれば馬がやわらかい。右上の方から谷の音が聞こえてくる。やや足場が悪く、左から雑木の枝がはさまっているが、前回の山行で、少し測定しておいたため、今日は慎重に歩を進む。程なく小さな滝に到着。井戸谷下流は殆ど伏流となっているが、ここまでは登ると水も豊富だ。一休みして紅茶を入れる。ワイスキーを数滴落しただけでリッチな気分になる。誰かを誘えばよかったなと思う。15

分程で出発。間もなく右手に避難小屋の跡をみる。数年前から徐々に壊れ、今は全くのべちゃん。老朽化と台風のせいだろうか。ここを通過してすぐ谷をまたぐが、この辺り最後の水場である。道は次第に急登となり、シロモジ、アシビが立ち始める。足元にフジシダの群生が現れ、クマザサの斜面と対峙すると、頂上はもうすぐだ。

二本松尾根線由の南のピーク、入道ヶ岳と北尾根線由のピーク、北の頭とのコルへ、道はまっすぐに迫り上がっている。振り向けば伊勢の海、瀬田川である。稜線直下で道はV状に割れる。左は近道だがきつい。残りわずかの数分のことだから、急がばまわれの右ルートをとる。2〜3分でアシビの群生する稜線に出る。北(左)のピークへは2〜3分。南(左)のピークへは3〜4分。先ず北の頭を踏む。ぼつぼつ紅葉のはじまった鎌ヶ岳、御在所岳方面の眺望が素晴らしい。写真を一枚撮ってから南のピークへ向かう。10時45分、標高906mの入道ヶ岳に着く。遠足登山によく利用される山だけに、頂上はゆつたりと広く、360度のパノラマは抜群だ。クマザサの斜面でニール装のシリヤードを楽しんでいる家族連れがいる。笹の中にどっぷりつかって甘藷の空に酔っている青年がいる。小大

とふたり、涼くの海を眺めている不感問近?の男性がいる。鈴鹿高校の山中さんだ。氏の『最新の著書「すばらしき登山」(ベースボール・マガジン社刊)は、山登りの基本を突にわかりやすく解説してくれる良冊だ。双方同時に、やあを声をかけたところへ、麓で出会った赤いジャージの鈴鹿高校のパーナティが早くも到着。みんないい顔をしてる。いい汗をかいている。聞けば来年は、ソ連の高校生と共に、天山山脈のグルガル峰に登るのだという。年間100日以上も山に入っている

面々だから、また一つ、大きな感動を与えてくれることだろう。

彼等と別れ、にぎり飯とする。ちぎれ雲がゆつくり東に流れていく。その先に知多半島が見える。求も腹壁に空がかわり、風がかわり、草木の息づかいがかわる。だから山は常に新鮮なんだ。ゆつたりとした自然のリズムに触れていると、あくせくしているのがあほらしくなってくる。たっぷりと休んで、11時40分。予定通り、二本松尾根を下る。アシビの群生を抜け、ロープの張られた、つるつる



道を慎重に下る。約30分で避難小屋通過。更に5分で小岐須、扇風岩への分岐に着く。右が小岐須溪谷、左が橋神社である。樺木が杉の植林にかわる。ジグザクの急な下りだ。20分程で右からの小さな谷と山合う。リョウメシダ、アオキが目立ち始める。谷と分かれ、2〜3分で、水の豊富な別の谷をまたぐ。いつものように、水をこる。今夜のコーヒー用ミネラルウォーターだ。12時40分、行きに通過した、大滝壺上部の河原に着く。空はいいよやく、もう一度頂上に戻りたいような気分だ。アサギマダラが一匹、風に身をまかせ、フワリフワリ、空の散歩を楽しんでいる。橋神社まであと10分だ。

(宝成2年10月10日歩く)

- ☆コースタイム
- 近鉄四日市駅(バス1時間10分) 山本(10分)
  - 梅神社(15分) 梅山の家(1時間30分) 入道ヶ岳(35分) 小岐須・扇風岩分岐(30分) 梅山の家下の河原(15分) 橋神社。
  - 地形図 2万5千11号
  - 昭文社 御在所・鎌ヶ岳

地域に合った品揃えを目指しています。

三重県唯一のプロショップ

登山・スキー・アウトドアのことならおまかせ下さい。

登山・スキー・アウトドア

**GRINDELWALD**

**グリンデルワルト**

営業時間 AM10:30~PM8:00 毎週月曜日定休

三重県四日市市藤野町13-3 TEL 0563-54-0627

# 表情豊かな迷岳

高台

松田敏男

迷岳。近郊の有名な山々を行きつくした人なら、名前に惹かれて、次に行きたい山のひとつに数えているのではないだろうか。

台高山脈は、高見山から大百ヶ原山に至る山脈を指すが、その中央あたりに池木原山という、これまた深い山がある。そのピークから東に張り出している大きな山塊が迷岳だ。標高は1309m。三重県の山だ。

私はこの迷岳に、昨秋の11月25日に登った。まだ真つ暗の時間に、山の会の仲間である大山さんの車に乗り、占領信号が続く快道な道を通った。

登山口の塩ヶ瀬には、国民保養センター奥香原荘がある。建物の背後には芝生の多い公園が広がり、家庭連れで賑わいそうだ。しか

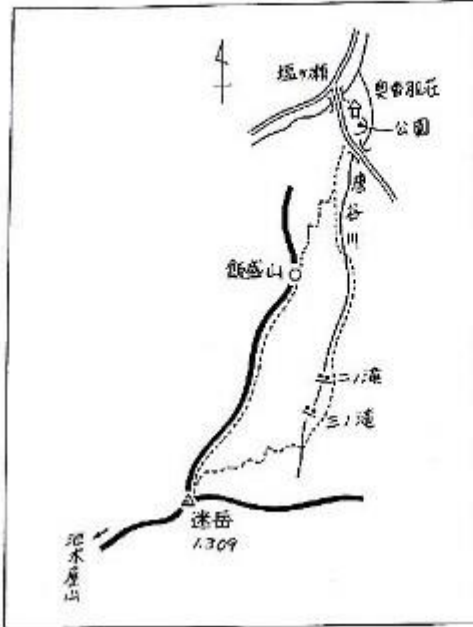
しまだ8時なので、人影は全くない。日曜日の朝は、ゆつくりと過ごそうに願う。

めざす方角の山岳風景がなかなか見事だ。ヌクツと突った山が、そびえ立っている。飯盛山だ。岩壁はあまりなく、ほとんど樹林におおわれているが、紅葉があたりこちにあふれていて、趣きがある。山腹に霧がかかっていたなら、最高だろう。

登山路が見つかからないので、奥香原荘に入つて尋ねる。谷筋に道があるという。しかし以前に、やはり同じ山の会の林さんから、尾根道を往復したと聞いていたので、その道を捜すが見つからない。砂利採取のトラック道が続いていて、その奥は地肌山の山が荒涼と重なっている。

や岩角をつかんで、よじ登る。下から見上げた時に、中国の桂林の山のように屹立していた飯盛山を登っているのだ。ほどなく山名のプレートがある頂上に出た。エアリアマップの位置より、ひとつ下のピークだと思ふ。三峰山が大きく望まれ、右遠くに周ヶ岳が美しい三角形で尖っていた。

また植林の中の前にかわる。単調な道が少し続くが、めざす迷岳が見え始める。地味で静かな、いい山だ。左下へ降りて行く道を見送って一息登ると、山頂だった。



山頂は南北に細長く、雑木林にささぎられて、あまり見通しのきかない所だ。東側には一段下がって台地があり、雑木林に囲まれたその平地は、夢見心地に誘う静けさだ。南へ少し進んで、大降方面や池木原山を捜すが、はつきりと同定はしがない。北には三峰山と高見山の間に、住塚山や圓見山が見えているのだらう。とにかく静かだ。

下りは、同じ道を引き返すが、すぐに谷へ降りて行く道に出合う。その道をたどってみる。ピンク色のビニールひもが10分おきぐら

いに間断なく、植林にくくりつけてある。奥香原荘の人が谷筋に道があると云ったことや、その道のらしきものを見送って登ってきたこと、エアリアマップにも破線路が記してあること(ただし、今下ろうとしている道は、もつと山頂に近い)などから考えて、この道を選んだ。ピンク色のひもが途切

迷岳から三峰山方面を望む



唐谷川を渡る手前の右側にある。地肌れで寸断されたような踏み跡をとってみる。するとすくにしつかりした道になった。これなら行けそうだと進む。しばらくして飯盛山の看板があり、谷筋道と右へ登る道に二分する。後者を進む。安定した道になった。植林帯である。下草の黄葉が枯れかかって、寂しい冬仕度だ。急である。自然林になって岩が現われ出す。なかなか敵しい機相になる。木の根

れたら引き返そうと決めて、どんどんと下りた。踏み跡があるかなきかなので、ひもがなければ歩いたものではない。しかしこの急降下は、エアリアマップにある、三つの流や、枝道多し、山ヌケありと記されている唐谷川の道に合点いそうだ。

丸木橋や木馬道が火のが手の私は、不安になってきた。そんな私の気持とは裏腹に、険しい所が下にあるとは思えない平凡な植林の中の道を下って行く。一度ビニールひもを見失うが、間断なく続いている。そしてとうとうジグザクに降り切つて谷に出た。そこは今までの静かな植林帯はどこへやら、ささぎの大きな大岩もあるゴロゴロした所だ。川の音が流を予感するに足る轟音で周囲を圧している。これに弱いんだ、私は。大きく撃ちをしして、冷静になろうとがんばる。

丸木橋を見て安心した。新しく頑丈な橋だ。橋梁も新品にかけかえられていた。最近、道を整備したのだらう。三ノ滝は懐巻いており、木々の間からちらちら見えるだけだ。音から推して相当大きいようだ。次いで二ノ滝。これは滝の横の岩場に降りる。全貌が見える。三ノ滝にはかなわれないが、迫力があり立派だ。だんだん道もよくなり、川の表情もやさしくなってきたので安心しかかってきた。植林帯

にかわり、平凡な道は、下山のエピソードの  
酔けさだつた。

だが間断なくあつたジャンクのみも消え、  
道があやしくなり出す。すると静かな雑林帯  
が突然ポツカリ切れ、眼前にすさまじい山ヌ  
ケが出現した。幅500m程、山の上から谷底ま  
で、スドーンと地崩が出ていた。急傾斜の上  
に、石ころが一面に危うく乗っている。スリ  
ズリと谷へ落ちそうになりながら横断する。  
しかし岩が露出している所で降りられなくな  
った。大山さんは飛んで降りたが、ぼくには  
できない。足の置き場を補助してもらって、  
やっと降りられた。

緊張いつぱいの山だった。台高山脈は、静

かなやさしい山脈とは対照的に、登山道は眠  
しい所が多いと思ふ。

時間に余裕があれば、奥香肌まで風呂に入  
ると、より充実した山行になるだろう。また  
何の飾り気もない山の宿で一泊して登れば、  
さらに深く味わいある山旅となるにちがいな  
い。

(平成2年11月25日歩く)

#### コースタイム

堀ヶ原(1時間30分) 飯盛山(1時間50分)  
彦岳(1時間10分) 曹公川出合(1時間40分)  
岩ヶ瀬

▲地形図 2万5千117日市

昭文社「大台ヶ原・大杉谷・高見山  
(参考)

国民保養センター奥香肌荘

059984 (5) 01337

向い合わせ先

飯高町後地産産課

059984 (6) 11111



二ノ滝

## 錦秋の名峰

# 恵那山から富士見台へ

東濃

石田 由子

恵那山は岐阜と長野の県境で木曾山脈の南  
端に位置する。2190mの南を誇る。南  
アルプスをなぞる支線の名峰で、日本百名  
山のひとつでもある。

名古屋から中央西線に乗り、中津川駅付近  
より望むと船をさかさまにした形のどっしり  
した山容を見せる。恵那山に登って、鳥越峠  
神坂峠へと下り、富士見台への縦走路は中央  
道曹公山トンネルの上を越えて木曽街道へ抜  
けることが出来る。「木曽路は全て山の中」と  
という中山道の街道歩きを楽しむことが出来  
る。

京都から新幹線で名古屋へ、中央本線に乗  
り換え中津川駅に行くとき京からのメンバー  
3人が夜行で先に到着していて出迎えてくれ

る。夏山以来の再会、面々お元気の様子。  
なつかしい。

恵那山は中央アルプスに属し、木曾山脈の  
南端にある。交通の便からはずれているので  
意外に人気なく不遇な山である。駅前からタ  
クシーで黒井沢登山口へ飛出す。国道157号線  
から川上の集落を中津川沿いに入り、やや狭  
くなった谷の流れに沿って林道を走ると黒井  
沢黒原キャンプ場の登山口に着く。タクシー  
で約半分かかる。ずいぶん山奥くまで入って  
いる。

登山口で身支度を整え出発する。大きい案  
内板と休憩所がある。このあたりで海拔11  
00m。黒井沢に沿う林道歩きから始まる。  
久しぶりの秋晴れで、真っ青な空を見上げ

恵那山山頂付近



とシラカバ、ヒノキ、トチの巨木に囲まれさ  
わやかな歩きである。恵那山へは黒井沢から  
登るのが最良コースである。林道はつづら折  
からやがて山腹の巻き道となり、小沢を渡り  
登るとまた山腹を登って再び沢に出合う。こ  
こから林道を離れ、標識にそって右へ本格的  
な山道となり暗い原生林の中を歩く。一汗か  
いて休憩を取って歩き出すとすぐに開けた黒  
井沢山ノ家跡に出た。ササの道を登って行く

世界の地図が揃う  
地図専門店  
**マップラン**

- 地形図●海外地図
- 古地図●道路地図
- ガイドブック

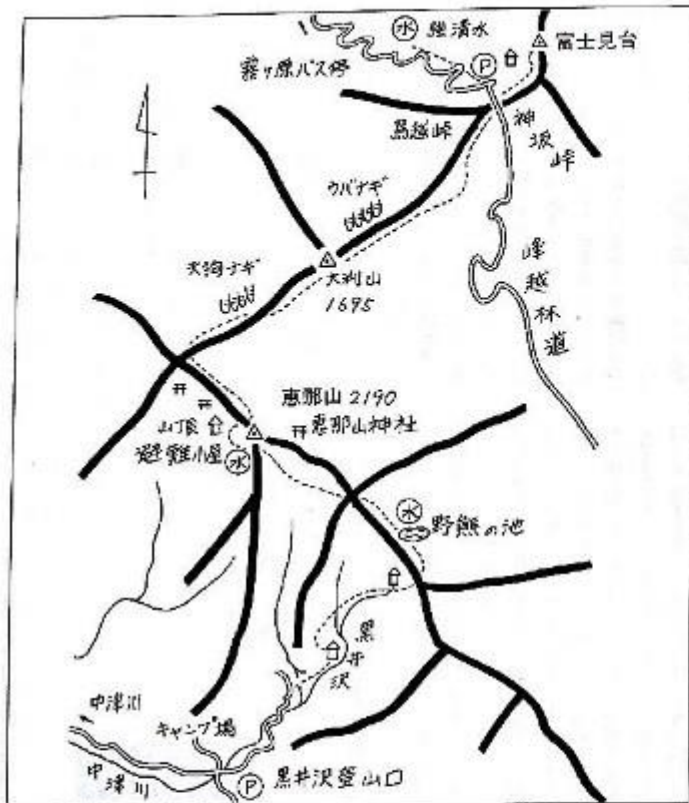
大阪府城東区野江アーク119 慶佐次館一  
階536号  
大阪低山登山会

TEL・FAX 2505446

会 員 募 集

新ハイキング関西版創刊おめでとう。主に  
日帰りで関西の山を歩いて1年になります。  
今迄のハイキングから脱反して、ガイドにも  
紹介されない静かな山に登ってみたい方、そ  
んな登山スタッフを求めています。40才以上  
の男女であれば経験不問、入会費時、62円切  
手回封の上左記へお問い合せ下さい。

大阪府城東区野江アーク119 慶佐次館一  
階536号  
大阪低山登山会



ある。開放的な牧場的な草原の山でもある。神坂峠まで戻り、T君の車のある駐車場まで10分程で着いた。ここからバス停のある霧ヶ原集会所まで歩くと1時間30分ほどかかる。

ある。東京のメンバーは時間の都合もあり、Mさんがバス停までT君の車を送ることにここで別れる。私は夕暮れ近い山の静けさを感じながら、

と小さな沢に出会い、この沢に沿って高さを上げて登る。広葉樹林の秋の色が美しい。そろそろお昼時、沢の源頭近くで食事にする。源頭をすくってやや傾斜もきつくなるが、よく踏まれ登りきると原生林に覆われた雑木林に出た。明るく根元から右側に南アルプスを見望しながら行く。遊歩道の標識があり、左の道を入ると新しい丸太小屋が建っている。四帖半ほどの広さで山の別荘である。そこから少し行くと野熊の池の広場に出た。休憩するのに最適なところ。澄んだ水と流れのある池だ。紅葉が池の面に映っている。

ササの道からカラマツ林のジグザグの道となり、黄色くなってきたカラマツ林を抜ける。と気持の良い尾根道となり、眼下が開ける。ひと汗かいてピークで小休止を取る。くだものお菓子など大きいザックは食べものでいっぱい。やがて原生林の中、石を踏む道になり、トラバースぎみに中津川側を巻くように登る。倒木をまたいだりでしんどい道。水場に著く。山頂の小屋には水がないので10分ほど飲料の水を補給する。冷たい水を飲み、コーヒータイム。もう少しで山頂に出るのでゆっくりして出発。水場から20分ほどで山頂の遊歩小屋に着いた。ホテルのような小屋が建っていた。

土間と板の間の二つに作られていて15、20人ぐらい泊れる。入口の横に雨水を取り込むタンクがつけられている。土間にはストーブがあり、テーブルを持ち込み食事ができるようにする。夕食は居酒屋となり、寄せ鍋、焼とり、つまみ、サラダとたっぷりメニューで、私以外は、お酒も入ったのしいひととき。ローソクの灯りだけが山小屋の雰囲気をかもし出していた。

翌朝、恵那神社のある山頂へ。一等三角点のある恵那山まで10分ほど歩いて行けるが原生林の間しか望めない。

五ノ宮、六ノ宮、七ノ宮と祠が祭られている山頂付近の縦走路は四ノ宮、三ノ宮、二ノ宮と原生林に覆われている中に祭られている。御岳が見えるところまで来ると恵那山という標識が立っている。三角点からここまで平らな山頂になっているようだ。

ここから下山が始まる。大きく急降下して下りきってからは、二つのピークを越えて天狗のナギに出る。ヤセ尾根を注意しながら下って、目の前にピークを見て、ふり返ると恵那山が大きく高くなった。尾根の下山路はいくつかのピークを上り下りしながら下って行くが遊歩道に南アルプス、富士山も小さく見える。尾根筋はササが光り、ところどころに紅葉

葉の木々が見えて美しい。前方には大判山から富士見台への縦走路がはっきり見えるようになった。

大判山着10時。大休止を取ってお茶の時間にする。吹き抜ける風が心地良い。休憩していると、T君が神坂峠から登ってきた。神坂峠下に駐車して日帰りして恵那山を往復するという旅行軍。彼は少し休むと恵那山へ向かった。

ここから急降下の後、ウバナギのヤセ尾根から信州側を巻くように行くと紅葉のすばらしい道となり急降下に出た。短いササの道を登り高原状の山頂付近で口袋を落して昼食とした。その高原を下ったところが神坂峠である。気持ちの良い峠である。岐阜県側からも、信州側からも林道が上がっている。

富士見台へは車道を左回へ下り、すぐ右に道がある。よく整備された道は雑木林が紅葉した中の登りである。ザックを準備して水へ下る分岐点にデポして富士見台を往復する。20分ほど岐阜側を回り込むように登って行く。全山ササ山。広い起伏の山頂の道に出て、神坂峠の前を通り、ドーム状の山が広がる富士見台に登り始め、この下が恵那山トンネルにあたる。北アルプス、中央アルプス、南アルプスと四方が素晴らしい展望台の山で

T君の下山とMさんがバス停を往復して戻るのを待つてコーヒータイムを楽しむ。標高1500以上のあたり立ち枯れの木が美しい。T君も無事16時30分下山したので、関西のメンバー3名は車を後にした。途中強清水に立ち寄り、おいしい水を水筒満タンにした。2日間共天気に恵まれ、小屋も清潔で、秋の恵那山を堪能できた。

(平成2年10月20日、21日歩く)

登山者タイム

- 京浜駅 7:37 名古屋駅 8:30 中津川駅 9:20 (タクシー) 黒井沢キャンプ場登山口
  - 10:10 10:20 黒井沢山ノ家跡 11:40 沢源頭 12:00 12:40 野熊の池 13:30 水場
  - 15:20 15:40 山頂遊歩道小屋 16:00 (白)
  - 15:30 沢源頭 7:30 恵那山山頂 7:40 遊歩小屋 8:00 8:10 天狗ナギ 9:30 大判山 10:10 10:30 馬越峠 11:30 お茶場
  - 12:00 13:00 油坂峠 13:25 富士見台 14:00 14:20 神坂峠 14:50 駐車場 15:15 17:00 京都 21:30
- 地形図 2万5千 中津川  
 問い合わせ
- 濃飛バス 05993 (66) 13331  
 北那那タクシー 0573 (66) 4649



紅葉の早稲谷から

小野村割岳

京都北山

村田 智 俊

山歩きを始めた頃は各種ガイドブックを山行のネタにしていたが、最近はその図をたまりに人のあまり行かないような静かな山を選んで足を運ぶようになった。エリアマップ(京都北山)を片手に、なんとなく見つけていた気になる山があった。それが小野村割岳であった。今までガイドブックでもあまり見かけたことがなかった山であり、山名も馴染みなかったのが興味を持った。早稲谷林道から振替路が通っている。

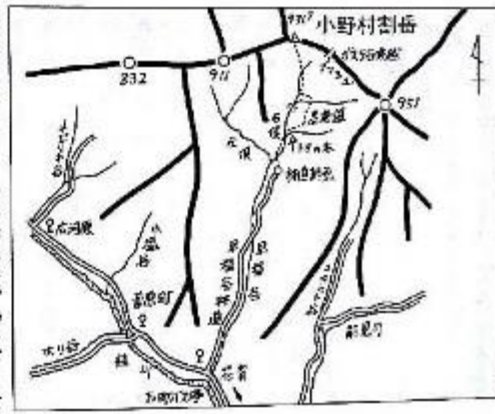
あらかじめコースの概略を所属する山の会の会長さんにお尋ねして、昨春3月にぶらぶらと出かけてみた。早稲谷にはいっぱいのフキノトウが出ていて、早春の暖かい日であったが、原上付近にはかなりの残雪があり、風も

強く、芽吹きにも早く、寒くてよい思い出にはならなかった。

そんなわけで秋の紅葉のシーズンを逃して再挑戦をした。この時の印象は春とは全くちがってよい山行ができた。

出陣前、早稲谷の京都バスで広河原行に乗って「下ノ町」で下車して早稲谷林道から往復しても日帰り十分可能。この林道はほとんど地道で谷に沿って、あたりの風情もよいので歩いていてもたいくつしない。私の山行はマイカーが多い。自由に予定が組めるので便利だからである。今回も山頂を往復するコースなのでマイカー山行にした。

花背峠を越すと急に山の色が変わる。まだ紅葉には早いかと思っていたが、花背より北



は紅葉のベストシーズンだった。峠を下りながら雲取山方面の斜面に朝陽が当たったことのが楽しかった。知った道なので意外に早く早稲谷林道に入った。春はアマゴねらいの釣り人が多く入っていたが、この季節の谷はだれもいない。杉や檜の植林に混じってところどころにモミジの紅葉が点在していた。やはり来てよかった。終点近くがガケ崩れで行けなくなったので駐車スペースのある橋のところまでバックして停めた。

約10分歩くと林道終点。ここで谷が左右から入っている。左の谷沿いにより仕事道がついていて橋を渡って行きたいところだが、登山道は右の谷沿いに早稲谷本流を真っすぐ行くのが正解。しばらく右岸山腹の植林の中を行くが、すぐに谷沿いの道になり、何回か渡り返しながらかつていった。やがて植林帯から自然林に変わって、ますます紅葉が美しくなった。下草も色づき秋の花が咲いていた。林道終点から約20分ぐらいのところまで谷を渡って左岸を大きく高巻く道に入る。谷の中州に大きなトチの木が立っているのを見つけたら、本流から高巻きへの分岐が近いということを感じておくといだろう。

初めは右からの支谷に沿って登るので本流

小野村割岳山頂から早稲谷を望む



からはずれるかのように感じるが、やがてその支谷とも別れ、北側の斜面をジグザグに気遣い、山腹の道となって大きく高巻いていることが分かる。分岐点から本流をつめると近いように思うが、先に大きな滝があり行き止まりになっていてガイドブックにある。高巻きの道が平坦になるとやがて左手の展望が開け、小野村割岳から西へ派生する稜線の斜面に点々とするモミジの色が美しい。岩を越して行くとやがて道はまた支谷に下って行く。この支谷は東側の植林帯から流れ落ちている谷である。源頭の谷水は澄んでいる。ここは農家の休耕地。橋はここでコーヒータムと決めて出発した。

支谷を渡りよい道が左へ下り気味に続いている。やがて先程の早稲谷本流と出会う。ここから本流に沿って草深い道になる。田には杉の大木が目立ってくる。左側面を注意しているところ、右側面を注意しているところ、取付点に分かる。斜面にハツキリした踏み跡があったので杉の大木の中を登って行った。尾根上の道になると急にネマガリタケのフッシュュになり、それをかき分けながら進むと山頂に到着した。

誰もいない静かな山頂だった。広葉樹林の中に狭いながら広場があり3等三角点がある。標高931m。北山にしては高い山である。南東側が開け、紅葉の原生林が広がっていた。北山らしい気分の落ち着く山頂である。

ゆっくりと昼食をとって、北東への稜線をカズラ谷集落方面へ踏み跡を拾いながら行ってみた。フッシュュの中約15分で道がよく分かんなくなりひき返した。カズラ谷を乗り越して標高951mまで行くと、先程コーヒータムをと思った地点へ下ろうと思ったが全アダメであった。このコースを歩くにはヤブ漕ぎの熟練者で、なおかつ鋸刀のある人でないと無理であろう。

もう一度山頂でゆっくりして同じ道を引き返した。往復このコースならどなたでも歩ける。

(平成27年11月3日歩く)

- コースタイム
- 下ノ町バス停(40分) 林道終点(20分) 高巻き分岐(40分) 山頂への取付点(30分) 小野村割岳(20分) 取付点(40分) 高巻き分岐(20分) 林道終点(40分) 下ノ町バス停
- △地形図 2万5千1:1多

昭文社「京都北山2」

野外塾

●ドライフラワーを楽しむ

二名良日

山行にも色々な楽しみ方がありますが、草木に目を向けたり、野鳥の声を耳を傾けたり、山歩き道すがらに、自然そのものに傾いたり、持つて、知識を深めていく、楽しむの世界がグンと広がります。そういって、山から、季節の自然にスチーム・インしていきなさいと思えます。

秋も深まり冬が近づいた山野を見渡すと、夏の陽光に燃えるように咲き誇っていたユリやキスゲやナデシコの花影はもう見えません。しかし冬の野にも、冬の花がない訳ではありません。雫々しさや華やかさを落とした、意志やシンの強じんさの骨格や正体をさらして冬枯れる野の花「ドライフラワー」たちが、北風にゆれながら立ち尽くしています。

日本人の自然観の中には、「花は盛りを、日は限なきを、見るものかほし」というように、咲き誇る満開の花や葉一つない葉月よりも、花嵐に散りゆく桜花や雪間にうつろう月影に、ものあわれ、を強く感じる美意識があるといわれます。花火のように大きな花を広げて枯れているシウドや、透き通るような繊細な花びらを残しているウツギや、花ガクだけになってカラカラと立っているワバユリなどを見ていると、チネリリップやグリアやヒマワリとは違う美しさに、見とれてしまいます。

登山道の道そばや、頂上の冬枯れの草原などには、イタドリやスキヤアザミなどの枯れ花が浜山目につくほずです。山池にはガラの穂があり、森の中の紅葉した山ブドウやカワラの落ち葉、カラマツやアナオドングリの実なども、ドライフラワーのリース(花飾)を作る時の小道具になります。

日本の自然を生かした芸術建築などでは、生命を見える、生け花が大切にされてきました。最近のコンクリー、建築では、無機質なオブジェとして、ドライフラワーがインテリアとして人気があります。

またクリスマスやお正月のパーティーのプレゼントや室内装飾として、ドライフラワーブームが高まり、アウトドア・レジャーショップなどにも、アメリカ製の何万円もする花飾が売られています。

勿論そんなに大きくは細かく組み合わせたりしなくても、登山道や胸の飾りに付けた、投げ込み風に花嵐にさしておくだけでも野趣豊かな気分になれますが、山行の途中で採集したドライフラワーの活用方法を紹介します。

まず採集法ですが、大きなビニールのゴミ袋と花バサミを用意するとよいでしょう。そ

のまま折り込めたり折れたり、花が散ったりしそうなものは、新聞紙で包み、ガムテープや輪ゴムで止めておけば安心です。

山行の際、どこにどんな花があるか見定め、おいて、花入れ用の大きなザックを用意して、特別にドライフラワー採集山行を企画できれば最高です。

まずは、コナージュと呼ばれる小さな花飾りを作ってみましょう。サワツツキなどの「木」の花だけでなく、エノコロ「草」や、イチヨウの「草」、野バラの「実」など、いろんなものを組み合わせ、束ねてリボンをかければ、プレゼントにも最適です。帽子飾りのアクセサリにも使えます。

ブーケの花束は、野山で花材を長目にとってくると、花束の前後に、大小の葉をバラ

スよく組み合わせた、素敵なお花ができます。スキキの穂や枯れ藁ランなどの大物をバックに生かし、赤イタドリなどの色物でアクセントをつけましょう。紅葉の落ち葉だけのシブルな組み合わせも、シックでなかなかオシャレです。

リースの花飾は、花・実・葉・ツルなどの美しさをモントージュする、一番手のこんだ大衆向け作業です。

まず、簡単に手に入るクス・フジ・ブドウなどのツルを使って、直径30cm程度のリースベースの輪を作ります。

次に、輪の地をカバーするために、モミ・アスナロ・スキ・ヒノキなどの常緑樹の葉っぱを輪にさしていきます。花穂でも、バリエーションのある山イモの花ツル・アブラガヤ・トク

シバ・ヤマアワ・アツバナデシコなどを束ねて下地とするのも一法です。

ウバユリ・モミジ・アオイ・オケラなどの花物や、ガマの穂、キリの実、マツボックリを配すると様やかさができます。

色物として赤イタドリ・ホオズキ・サンキライ・ノバラ・ヤブコウジ・ツルウメモドキ・ナンテン・モチ・ヒラカンサ・ヘクソカサ・ハハコグサ・ムラサキシキブ・ネズミモチなどで色彩感を出しましょう。

一点強調的なアクセントづけに、アジサイ・ハマウツギ・ヤツデ・ハスの実をセッすると豪華さがでます。

人工的なドライフラワー作りとしては、自然乾燥法・電子レンジ法・シリカゲル法・グリセリン法などがあるので応用しましょう。

京都北山を歩く(3)

澤 潔著 四六判・一九〇〇円  
地名語源・歴史伝承と民俗をたずねて、大堰川・由良川の源流を溯って丹波高野東の最奥部に入る。1巻、2巻好評発売中。各一九〇〇円

兵庫丹波の山(上)

慶佐次盛一著 四六判・二〇〇〇円  
氷上郡の山・低山といえども新鮮な山域。丹波最高峰・栗屋山ほか約10山そのほとんどを網羅する。各山地図付。下巻「多紀郡」来春

ナカニシヤ出版  
京都市左京区吉田二本松町2  
電話 075-751-1065 千606

# 三国山から赤坂山へ

野坂

柴垣貞夫

昨年の秋は9月下旬から10月下旬にかけて、決って土、日に雨が降るといふめぐり合わせの悪い数週間が続き、日曜日の晴天だけを楽しみにして働いている我々サラリーマン族にとっては異常な天候続き。山歩きには最高の季節なのに。山にも行けず本々写真を眺めて山に行つたつもりになれるほど人間が出来てないので、憂うつな気分です「チキシヨフ」の連発。ストレスのたまりっぱなしだった。

10月21日の例假日は今までのうっふんをいっさい晴らすかのような晴天。雲の一次片もない青空が広がって、久しぶりに蒸散な山行が出来そうで、心が弾んでうれしい気持ちにしてくれた。

京都駅発、時37分始の湖西線にのり、近江

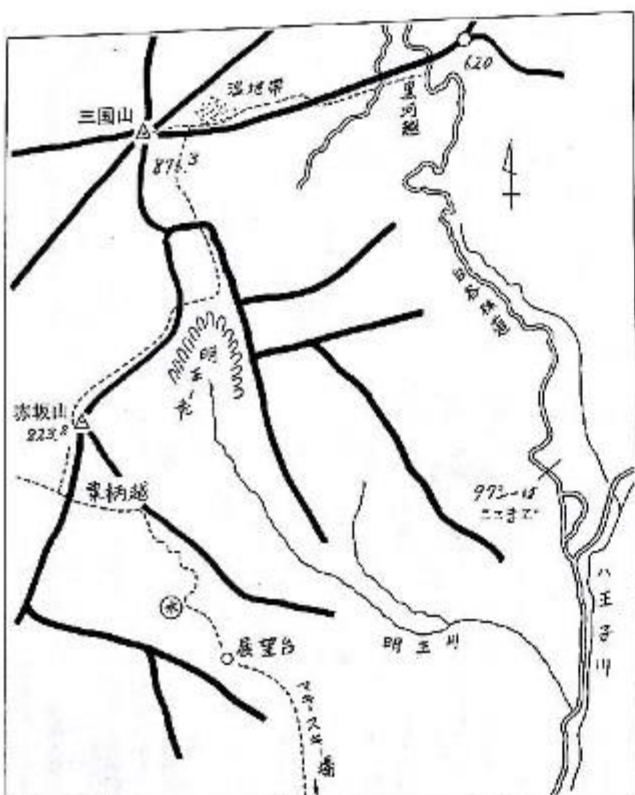
今津駅から予約のタクシーで白谷林道の入口まで飛ばす。今年この林道に行くのは二度目。春、どうしても満開のカタクリの花が見たくて、二度もこの林道から乗鞍岳の尾根を歩き、それこそ足の踏み場もないほどに咲き乱れたカタクリの群生をみつけ大満足したの思い出。季節が移り、友が変わると同じ道でも又変わったみたいで気分新たに歩けるものだ。林道に沿った木々の葉が色づき始めるにはまだ少し早いようで、見上げると頂上に近いところでは、緑が褪えかかりそうなほどの頼りなまで残され、だんだん茶色っぽい色の領域が広がっている。不順な天候にたたられて今年の紅葉はあまり綺麗ではなさそうである。

黒河原の登山口で小休止。数人が時どきし先のブナの原生林を見学に行かれる。やっぱりこのブナ林はゆつくりと時間をかけてボクーツとひとときを過ぎすくらの余裕でなのしむとほんとうの良さが味わえるのだが。今日はあまりゆつくりも出来ず、美味しいものを機口でチラッと見せられたような気分が残念だ。

ここからは一列になつて山道を登つて行く。女性の多い今日のパーティー。ウェアやリュックの色が華やかで、後ろ姿は若いギヤルにも劣らず若々しい。林道歩きで十分にウォーミングアップされた後なので、足どりも軽く、秋の華花を羨しみながら二面度を探いで行く。しばらく登ると再び林道に出る。なんのために作られた林道かなと思わせるほど、草ボウボウでこれでは車も通れない。税金を無駄に使った見本みたいな林道。少し先から再び山道に入ると、だんだん眺望が素晴らしいくなり、大岩のある見晴らしの良い展望所で休憩する。眼下に、歩いてきた白谷林道が蛇のようにくねつているのが見え、大きな銀盤に小石を置いたような竹生鳥の影を映した琵琶湖や、伊吹、雲仙、御池など錦蓮の峰々、若狭や奥美濃の山々がいくつにも重なり、波のように青く傾んで見える。

ここからの道は小刻みなながらジグザグをくり返して登って行くので傾斜もゆるく、周囲の樹木が低いので、景色をたのしみながらのんびり歩ける。やがて遠坂帯に出て木道がある。

うわれ、ちよつとした草原で、小さな池堀がいくつかみられる。高原のようで、歩きながらなんともく口笛でも吹きたくなる気分。まもなく大戸谷の頭に出た。山の中のオアシ



スといった風情で、どこから湧きたすのか清流が真ん中を流れる台地の広場になっていく。ここは春には花がいっぱい咲いていて目を楽しませてくれるところでもある。

三国山への道はここから少し登った分岐を右にとる。リュックをテポして灌木の中、細い道を登って行くと、若狭、越前、近江三国の境界に立つ山頂に登り着く。以前は立ち木に遮られて眺望が利かず期待外れの頂上だったが、今は東側が伐採されて琵琶湖や美濃の山々の展望が良くなり、これから行く赤坂山の笹に覆れた三角錐の雄大な山容が手にとるように見える。期待していた日本海方面が見えないのは残念。

山頂を後に再び分岐まで戻り、南へつづられた赤坂山への権足峠を歩く。山腹を登くようにつけられた平坦な道は、色づき始めた雑木林のトンネルを歩くような静かな道で、昔ならば、カタクリやショウジョウバカマ、イワウチワなどの花が咲き乱れるフラワロードになるところ。小さな草や林を過ぎると、前面がパーティと広がって見事なパノラマが開ける。荒々しい岩壁がそびえ立ち、風化して崩れた岩石が急峻な斜面をはるか下へ流れ落ちている様は、湖北の山では珍らしいアルペン的な風景だ。明王(禿)で、奇麗にしばらく見

# 野山を歩いて、心と体を鍛えよう!!

★さまざまな山頂が楽しめる  
毎日登山旅行



ヒマラヤの東麓峰「マナーブテレ」6,393m

## 日本と世界の名峰へ登る「毎日登山の会」

### 国内

- 木曾御嶽山と奥郡山  
11月8日～10日 39,000円(5食付)
  - 高神山と雲取山  
11月8日～10日 55,000円(6食付)
  - 利山  
11月9日～10日 33,000円(4食付)
  - 熊野白山と妙法が岳  
11月16日～17日 28,000円(4食付)
  - 雄略が岳と西方が岳  
11月17日 8,000円(昼食付)
  - 大菩薩嶺  
11月16日～17日 28,000円(3食付)
  - 河原山  
11月17日、27日、12月15日 7,000円(昼食付)
  - 鉢伏山と氷の山  
11月23日～24日 28,000円(4食付)
  - 九尾連山と親見岳  
12月6日～9日 34,000円(4食付)
  - 霧島山と高千穂  
12月14日～15日 43,000円(3食付)
  - 宮之浦岳  
11月2日～5日
  - 12月20日～23日 93,000円(8食付)
  - 霧島山と隈院岳  
12月29日～1月2日 70,000円(7食付)
  - 冬の八ヶ岳へ麓奥岳と本沢湯沢  
12月31日～1月2日 47,000円(5食付)
  - 茅ヶ岳と四連山の初富士  
1月1日～3日 48,000円(6食付)
- ※その他、たくさんコースを用意しております。  
パンフレットをご請求下さい(無料)

### 海外

- ◆深田久弥の名著「日本百名山」へ登ろう!!  
毎日登山の会は、日本の山々を紹介したアルビニストのバイブル「日本百名山」に、90年12月末日、中部山岳の主峰「丹波山」へ登り全山踏破しました。今年から新たにスタートしています。奥座は「日本百名山」だけ、ご希望の方には、毎年パンフをお届けします。あなたの100名山を持って下さい。
- ネパール・ヒマラヤ・トレッキング  
「白い神々の国」を眺めながら、ヒマラヤ山脈をトレッキングし、山頂まで登ります。  
★登山の準備は自分で行ってください  
11月15日 11月15日、92年3月17日  
旅行代金 388,000円(全食付)  
★登山の準備は自分で行ってください  
11月15日 11月15日、92年2月5日  
旅行代金 385,000円(全食付)
- エベレスト・パノラマ旅行  
ポカネ、エベレスト、ビューに回り、世界に感動する偉業の最終峰「エベレスト」を見る。  
11月10日、92年3月18日(9日間)  
旅行代金 438,000円(全食付)
- キナバル山  
赤道直下、ボルネオ島にある東南アジアの最高峰へアタック。山小屋216の黄金山行。  
11月19日、92年1月14日、3月24日(7日間)  
旅行代金 269,000円(全食付)
- ニュージーランド・ハイク  
南半球は、牧場、マウント・クック、キーウィット、アウトバーンなどを多く。  
11月19日、12月1日  
92年2月11日、3月29日(10日間)  
旅行代金 486,000円(全食付)

■大阪発着 ■添乗員同行(一部ガイド付) ■お1人でもご参加下さい

お申し込み資料請求は **毎日新聞旅行** ☎06-348-0031  
運輸大臣登録一般旅行業第704号 受付時間 09:00～17:00 日曜日・休  
〒530 大阪市北区豊崎橋新地1-3-16

赤坂山にて



惚れてしまう。ガレの岩端を直登して岩稜の上に出ると、展望が良い。ガレ場を通き、一帯鞍部まで下って赤坂山への登りになる。広大な斜面に生い茂る笹の中を真っすぐに伸びる急登の斜面で、腹も空いてきたのかやけにさつく感じられるが、時おり顔を見せるリンドウの可憐な花に慰められて赤坂山山頂に登り着く。360度クルリと回って見れば透るものな

い文句なしの大展望台。この芝生の頂までゆっくり登っても出来たら、きつと素敵な夢が見られることだろう。風に靡かれて波打つ笹の海の中を要領感にむかっつてどんどん下る。要領感から少し下った鉄道の立つ見晴らしのよい広場で昼食にする。

下山道は、ブナやミズナラの林の中をぐんぐん下って行く。途中の石壁は遠く、近江から登越で若狭や丹波へ抜ける古い街道の名残りで、昔の人はどんな目的でこの街道を往來したのだろうと想像するのも又楽しい。途中の尾根から振り返り見る「折王ノ巻」は折りからの西陽をいっばいにうけ、一段と荒々しく見えるのが印象的だ。ドライフラワーにする真っ赤な実をつけた馬に似た姿を折る人、何故かセンブリの花を摘む人、それぞれに楽しんで夕陽の影が濃くなったマキノスキー場のゲレンデに降りついた。

バス停の待合小屋の前を占領して、15時11分発のバスまでの1時間、残り物のおつまみで下山後のビール、ウイスキーやお酒で冷えてきた体を温め、「女の時代」談笑で賑やか。今度生まれるときは男女どちらが良いか。結局は今のままが一番ということに落ち着く。皆さんそれぞれに今が一番に幸せ。幸せだか

ら山に来られる。ナツトク。賞切みたいいな小型バスですっかり暗くなつた近江今津に出て、19時20分京都駅に降り着いた。  
(平成7年10月21日歩く)

【コースタイム】  
近江今津駅(タクシー20分) 白谷林道終点(1時間20分) 黒河城登山口(1時間) 三国山(50分) 赤坂山(5分) 栗駒越(1時間30分) マキノスキー場登山口(15分) 北マキノバス停(丁)Rバス6分 近江今津駅

【地形図】 2万5千1海津・駄口  
※白谷にはラジウム温泉八王子荘がある。下山後、汗を流すことができる。入浴料350円(未濯日休) 0740(27) 0085



エリア別徹底研究 (概観)

京都北山 (一) 鞍馬・大原・八瀬周辺の山

# 落葉を踏んで紅葉の里山コース

北川 裕久

創刊号から1ヶ月間、関西周辺の山々の中から、エリア別徹底研究として京都北山の代表的なコースを順次紹介していこう。

まず京都北山といえは群を抜いて高い峰があるわけでもなく1000mにも満たない峰の連なりで、北部は福井県の黒部まで続いている。典型的な日本の低山である北山には、美しい渓谷、歩く神に深みのある峠道、歴史や伝説を秘めた石仏や山里、日本の美として知られる北山杉等、他の山域には無い独特の個性を有つ山域である。日本アルプスのような挑戦的な山ではなく、歴史や伝承を他びつづつ、しつとりとした山道をゆっくり歩くこと、これが「北山歩き」の基本であり、これから紹介する京都北山の道で、季節の風を肌で十

分に感じ取っていたらどう。

創刊号では、鞍馬・大原・八瀬周辺の一般コースを紹介しよう。鞍馬・大原といえは京都の観光地としてあまりにも有名である。

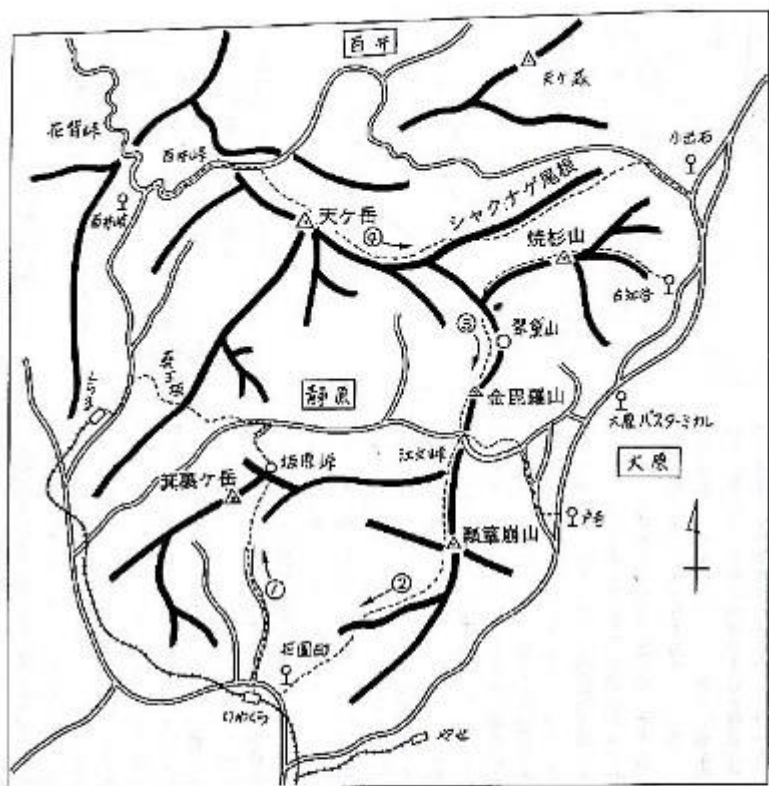
大原まではバスの便も多く、沢山のハイカーが四季を通じて訪れる。三千院や寂光院、来迎院などの名刹が大原街道の両側に点在し、大原名産の柴漬の原料となるシソ畑が広がる。野村岐れから東の山中には皇位継承争いに敗れた北山の山中に隠棲した文徳天皇の第一皇子、惟喬親王の墓が建っている。北山一帯には親王ゆかりの旧跡が数多く残されている。東側には比叡山が、西側で一帯目を引くのが岩肌を削き出した金羅羅山である。ロッククライミングに嗜好の岩場として京

寂光院



都団体山岳部門の登攀施設の会場となった場所である。南側の江文碑は車道化し、バス路線となつて、昔日の目標ある時は人々の憧れにしか残っていないのが残念である。

大原から少し北へ入った旧道沿いに吉知谷回廊跡寺がある。焼杉山の登山口としてハイカーには有名である。山門から本堂までの坂道には立派なカエデ林が続き、老木は樹齢300年とも言われている。11月上旬頃の紅葉



はずばらしく大原一とも言われるくらいである。又、創業者である藤野上人のミイラが本堂わきの岩壁に安置されていると聞くと、

小山石・吉井間は標高差300mばかりある為、百井方面からは、天ヶ岳を経由しても楽な山行ができる。百井岐れ、から天ヶ岳シヤクナゲ尾根のコースは、足菜、春と秋には防れて頂きたい第一級の推奨コースである。

瀬原山麓にも五方面からの登山道が集中し、どの道もよく踏まれた良い道なので、自分でプランを立てるには絶好の山といえるだろう。鞍馬周辺のハイキングコースも京阪電車が出陣まで開通したため大原方面からもずいぶん近くなり、道や道標も整備されて歩きやすくなった。

今回の4コースは何れも初心者から一般向きで、北山のほんの入口に過ぎないが、晩秋の一日、鞍馬・大原・八瀬周辺で爽やかな汗を流して頂きたい。

(調査 平成3年6月~7月)

鞍馬・大原・八瀬周辺の山①

隠れた里山と歴史を秘めた峠道  
箕裏ヶ岳

京都北山



観音石宮駅で下車、北へ住宅街を過ぎ、右前方左側に箕裏ヶ岳が見える。村松集会所の横から少し北へ入ると寺があり、その先で道は二分する。左へ橋を渡ると雑木林の小道である。道筋には石仏や傳書巻が隨所に置かれ、田圃風景と雑木林が独特の景観を作り上げている。緩やかな登りを終えると坂原峠に着く。峠には墓塚があり、西の尾根へ登れば京都市街の展望は良好である。山頂までは雑木林と杉林の混在林で明瞭な道が続く。峠から50メートルで落ち着いた小さな山頂である。

西南の尾根は雑木帯で紅葉の美しい尾根であるが道が不明瞭な為一般向きではないので坂原峠へ戻り鞍馬へ下山する。帰路は薬王坂を経由し、鞍馬へ出る。薬王坂の入口は集落の西(東海自然歩道の道標あり)から始まる。杉林を少し登ると松の根元で断崖二階級滝を具、雑木林の緩やかな道を登る。後を振り返れば比叡山が木の間に越しに見える。30分も歩けば峠である。深く世縁ある峠道は落葉の蓄積と共に歴史の重みを感じ、樹間の陽光にやすらぎを感じる事だろう。薬王坂の由来は、伝教大師が鞍馬で薬王如来像を作り、鞍馬に帰ろうとこの坂を越えたとき、薬王が姿を現わしたという。やがて横道を下ると地蔵寺に着く。橋を渡り観音鞍馬駅まですぐである。

坂原峠から箕裏ヶ岳



北川 裕久

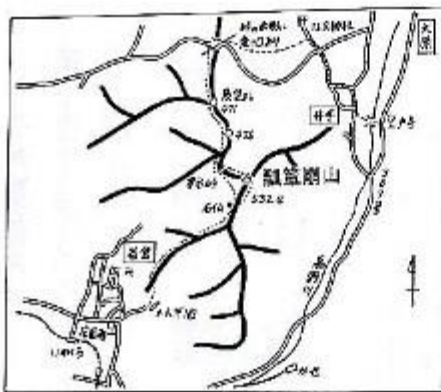
コースタイム

観音石宮駅(45分) 村松町(1時間) 坂原峠(50分) 箕裏ヶ岳(35分) 坂原峠(30分) 鞍馬(1時間20分) 観音鞍馬駅  
地形図 2万5千11京都東北部・大原

鞍馬・大原・八瀬周辺の山②

落葉の散策路  
瓢箪崩山

京都北山



風変わりな山名の由来は定かではないが、長谷上流の水温が夏でもかなり低い事から水谷(谷はタンと発音)つまり水のように冷たい谷という語源であると聞いた。  
「戸」から井手町を指し江文幹社から道標に従って回道を通ると車道に接続してしまつた江文幹社に出る。薬王峠への帰路道は、バス停横の旧道から急坂を登る。  
比較的遠く背後に、大原の町並みが見える。緩やかな雑木帯の尾根で明瞭な道が続く。  
途中、伏拝地から比良方面が開け、④④7-1に到着。右の道を取り少し下ると尾根が分岐するが、道標に従い南下する。笹道になるあたりから急登りになり左側に岩場のある所で左側からの細道と出会う。槍岳じりの雑木帯で岩の点在する地点を通ると④④7-6から北東へ延びる尾根に乗る。④④7-6を下るとT字路に出合い、左は井手町への道なので右の急き道をとる。

右、左から急な道が合流し、きき道が大きく右へ回り込むと乗合峠である。古くから乗合街道の頂点として大原と三ヶ岩を結んだ峠で、瓢箪崩山へ登る前に古道から伝わる落葉の感傷を秋の日溜りで味わいたい。瓢箪崩山へは、東雨の尾根を登る。霧岩を乗り越え、ピークを一つ越せば3等三角点の山頂である。

る。

展望は東方の比叡山々々いり他は樹木に閉ざされているが、この山の美しさは繊細な樹木と落葉の古道のコンビネーションであろう。南西へ下ると乗合峠からのエリ道に出会う。八瀬方面へ10分程下つた所に鎌倉末期の小さな石仏を見る。岩倉へ下るならかな古道は歴史の中で踏みぬられた美しい雑木帯の道である。途中、二本松を経て八瀬へ下る道が左へ分岐するが、若草花園町へは直進する。

右側に飛脚池や村松の集落が見え、松林で右へ大きくカーブする。この先でクスギやコナラの茂る緩やかな道となる。晩秋から初冬にかけて灌漑したい場所である。杉林を抜けるとトトギ池のある林道に出会う。  
「花園町」のバス停まで5分ぐらいである。  
北川 裕久

コースタイム

戸寺バス停(30分) 江文幹(30分) ④④7-1(30分) 乗合峠(15分) 瓢箪崩山(10分) 石仏(1時間30分) 花園町バス停  
薬花園町から観音鞍馬駅まで徒歩10分。  
地形図 2万5千11京都東北部・大原

エリア別徹底研究

鞍馬・大原・八瀬周辺の山③

大原の主稜線から神峰へ

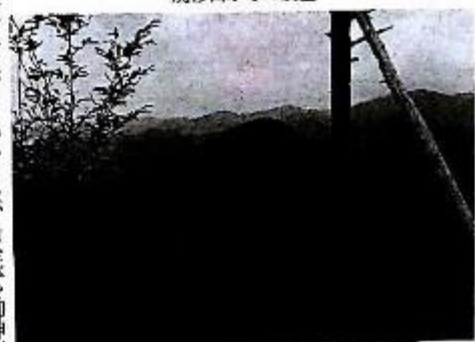
焼杉山・  
金毘羅山

京都北山

「古知谷から北へ50分、阿蘇陀寺の白い中国風の山門が見えてくる。山門を潜ってすぐ右側に石碑があり、その横から檜林の急坂を登る。この道は園遊巡視路で、第一線塔から支那橋に乗る。松の点在する道を第二・第三と鉄梯をやり過ぎす。背後に大原カントリークラブのグリーンが鮮やかだ。一気に高原を上げ第三線塔から主稜線に乗る。薄木帯の中道も幾分緩くなるので一息入れよう。

しばらく行くと巡視路は右へ分岐するのでコースは尾根伏いに進む。すぐに左の阿蘇陀寺宿坊からの道(現在、歩行禁止)と合流する。この先はシャクナゲの点在する岩場もある。瀧木帯の緩やかな登り下りをくり返す。春先や晩秋の繊細な樹木の色彩は印象深い山行にしてくれるだろう。右側の浅採地を過ぎると次のピークが焼杉山である。北側の展望が良く天ヶ森から皆子山方面が展開する。山頂付近の展望を楽しみながら歩くことに急坂となり伊王谷からの道を右から吸収する。この付近から尾根は南へ大きく曲がり、笹の下生えする緩やかな小路となるが檜林に入ると急坂となり寂光院の分岐につく。ここで天ヶ森方面からの道も右側から合流する。再びピークを一つ越えたと大原への分岐がある。薄木帯の中、登り下りをくり返し、天ヶ森方面の山々がせり上りつてくると翠嵐山の山頂である。西側は伐採された0.12の尖峰が美しい。さて、金毘羅山へは、翠嵐山から少し下ると大原の分岐に出合ふ。再び薄木帯の中を歩くと、やがて前方に金毘羅山の尖峰が二つ見えてくる。少し下ると道標のある三叉路に出合ひ、金毘羅山を経て江文峠への方角へ進む。山頂までは、岩場の点在する比較的緩やかな登り、途中の岩場は左面が展開する絶景地である。この先のピークが金毘羅山で、山頂には崇徳天皇を祭る平等王宮があり、東に蘆花山、北に飯山の山並み、南には京都

焼杉山からの展望



市街が一望できる。古くは、山全体を御神体とあがめられ、今でも山頂に三尊大神を祀る祠がある。火堂・風堂・雨立の石窟があったと伝えられるものである。金毘羅山の三角点は、三尊大神の裏から西側の尾根を往復する。江文峠への下りは、最初、岩場を下るが、すぐに尾根を離れて右の急な右段を下る。やがて壱ヶ谷神社の広い参道に出合ひ、「むつみ地蔵」を過ぎると右側の谷合ひへ下りる



道があり、道標もある。谷合ひの緩やかな道を10分も下れば江文峠の車道に出合ひ、バス停もあるが便が少ないので、特を東へ廻り込み、旧道を戸寺まで歩く事にする。杉林の中、道は流路となって井手町に出る。高野川に架かる橋を渡れば「戸寺」のバス停である。(北川 裕久)

(北川 裕久)

◎京都北山歩きの注意点

京都北山を歩くときは登山だとは違ってはいけな。登山のコースとは別、仕事道や巡視路などいろいろな道法が多いからだ。常に登山用地図を持参し、道標や目印のテープ・赤布などに注意し、地形を認識しながら進む。間違っと思ったら必ず元のところまで引き返すこと。そのまま行ってしまうと思わぬやぶ漕ぎを強いられることが多い。

山と高原地図シリーズ

定価 各700円(税込)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 北アルプス絶頂   | *34 飯倉山     |
| 2 白馬岳       | 35 朝日・出羽三山  |
| *3 奥山越・黒部湖  | 36 奥山越      |
| 4 野・立山      | *37 奥山越・奥山越 |
| *5 上高地・奥・奥高 | *38 奥山越・奥山越 |
| *6 黒部湖      | 39 八幡平・奥山越  |
| 7 磐梯        | 40 十和田湖・奥山越 |
| 8 宇都宮・奥山越   | *41 ニセコ・奥山越 |
| 9 木曽駒・奥山越   | 42 大雪山・奥山越  |
| 10 甲斐駒・奥山越  | 43 白山       |
| 11 志賀・奥山越   | 44 雪印・奥山越   |
| 12 妙高・奥山越   | 45 磐梯・奥山越   |
| 13 志賀高原・奥山越 | 46 江良山系     |
| 14 野新沢・奥山越  | 47 京都北山1    |
| *15 西上野・奥山越 | 48 京都北山2    |
| 16 奥ヶ谷・奥山越  | 49 京都西山     |
| *17 ハケ谷・奥山越 | 50 北沢の山々    |
| 18 藤二・奥山越   | 51 六甲・奥山越   |
| *19 冠嶺      | 52 奥山越・奥山越  |
| *20 伊豆      | 53 奥山越・奥山越  |
| 21 丹沢       | 54 奥山越      |
| *22 奥山越     | 55 奥山越      |
| 23 奥山越      | *56 大雪山     |
| 24 奥山越      | *57 大雪山・奥山越 |
| 25 奥山越      | 58 奥山越      |
| 26 奥山越      | 59 奥山越      |
| 27 奥山越      | 60 奥山越      |
| *28 奥山越     | 61 奥山越      |
| 29 奥山越      | 62 奥山越      |
| *30 奥山越     | *63 奥山越     |
| 31 奥山越      | 64 奥山越      |
| *32 奥山越     | 65 奥山越      |
| 33 奥山越      | 66 奥山越      |

昭文社

本社 東京都千代田区九段北4-2-11  
電話03(3282)2141(代) T102  
支社 大阪市淀川区中島6-11-23  
電話06(303)6721(代) T530  
営業所 札幌・仙台・横浜・千葉・福岡・竹ノ  
本宮・奈良・京都・広島・福岡

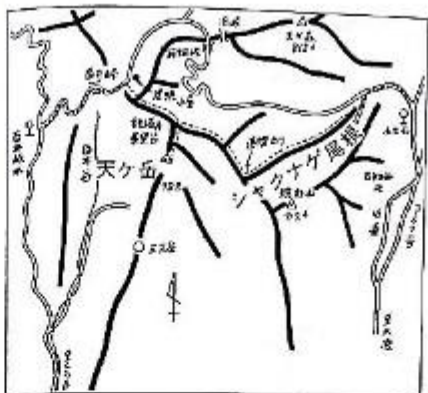
エリア別徹底研究

鞍馬・大原・八瀬周辺の山④

シャクナゲのある名峰

天ヶ岳と  
シャクナゲ尾根

京都北山



北山の中でもこれ程登山コースの多い山は他には無いだろう。このコースは百井峠・小出石間の高差を利用して約80%が下りの一般向きコースである。三井坂から百井峠までは杉林の急な車道で、途中山道は杉林小屋の付近からは京都市街の展望が良い。百井峠は安曇川と竹茂川の分水嶺で杉の根本に二体の石仏が安置されている。峠から300m程下った所に道標があり、天ヶ岳方面へのユリ道の入口である。東側は伐採された天ヶ岳や哲子山の紅葉が美しい。途中の展望台(笠懸谷)からは、北山のパノラマが展開する。この分岐の少し先が天ヶ岳への登り口である。樹林の突起を越え杉林を緩やかに登ると山頂に着く。樹林に切られ展望はないが春や晩秋にはハイカー達で賑わう。登り口から往復20分の行程である。灌木帯のユリ道を行くとすぐに右側が開け、關原道(関原道)の三叉路に出合い、右(大原方面)を取る。すぐに露岩の急坂となるので慎重に歩きたい。道も緩やかになり、前方、木の間越しに金羅山や比叡山が見え、道標のあるシャクナゲ尾根の分岐に着く。灌木帯の三叉路で休憩するには良いだろう。シャクナゲの群生する尾根を10分ほど登ると展望の良い鉄塔下に着く。途中、シャクナゲの群生は途切れ、伏拝

地を緩やかに登った。⑤



百井峠の伏拝小屋

下りをくり返し、右に焼杉山の尾根が、左には天ヶ岳からトンボユリ方面の山並みが紅葉と樹林の色彩で幾何学模様を作り出している。やがて樹林の急坂となり岩尾谷の林道に出る。高谷川に沿って「小白石」バス停まで15分くらいである。(北川信久)

コースタイム  
百井峠バス停(40分) 百井峠(30分) 天ヶ岳分岐(15分) 針尾分岐(20分) シャクナゲ尾根分岐(20分) 高谷川出合(15分) 小白石バス停  
▲地形図 2万2500/1大原  
▲ファミリーハイカーはシャクナゲ尾根の分岐を大原方面へ取り、飯尾院から大原へ下山するコースを推奨する。

エリア別徹底研究

京都北山 (一) やぶ漕ぎ痛快山行記

大原呂川谷「音無の滝」から  
童髯山を経て古知谷ハイク

北大路バスターミナル9時発小出石行きに乗り大原バス停で降りる。さすが紅葉のシーズン、三千院前の観光客の雑踏にもまれながら呂川沿いに土産物屋の並ぶコンクリート坂道を米刈院橋へ進む。杉林樹下の林道となり観光客もまばら、余計荷物好きでないところの付近まで入らない。「湖原」に注意の看板が立つ。大原バス停から20分程で呂川に落ちる音無の滝に着く。北山の河川に落ちる七名瀑のひとつ。高さこそ低いが周囲の広葉樹、ミミジ、楓の色彩りと石肌の間、清流の白シヤブが映える。新緑の時も良いがこの晩秋の季節、山歩きには抜群だ。また今日は涼風の空、無風の小巷日和。

京都北山グループ

流の広場の左から滝を巻き山道に入り右岸を進む。朝霧の笹道、生々込みが強くトツプは濡れネズミ。左から谷が合つ大岩の橋に出る。ここから前の支尾根に取りつき沢から離れる。先には水場はないのでここで補水。中支尾根の杉林の中、高差差にして200m程の急傾斜、ジグザグに道につけられておりワンピッチで釜山から西にのびる土尾根に繋ぐ。右側は浅探深後の幼杉植林斜面、小野山方面の展望が良い。この尾根筋を渡り、雑木林の下道になり、葉っぱが落ち、枯れ葉の織り、足裏のクッションが心地良い歩行に変えてくれる。

やがて小さな断崖を越し、南北にのびる府

大原三千院前



県界区界との三叉路に着く。右は御木峠へ、左は伊香立懸えへの分岐、童髯山(大原山とも)の頂上は道の左を一寸登ったところ。2. 三叉点681mの礎石が建つ。灌木のため展望はきかない。左伊香立懸えにのびる支尾根に、関西電力の送電鉄塔がある。鉄塔の草付き広場が音無院から比良連峰、丹波高原の山々まで、鈴鹿連山とパノラマ好景は個所、ここを登山場所にする。無風快晴の今日の里

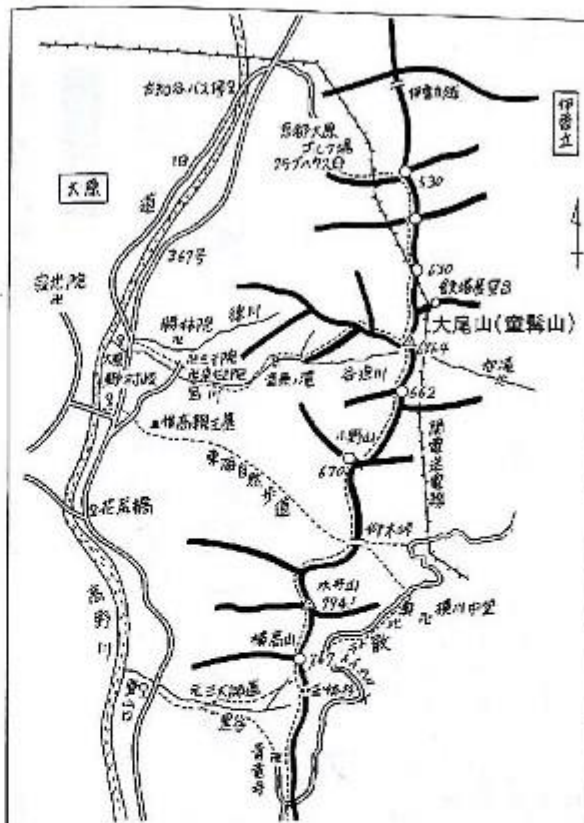


山歩きの場合、時間を気にする心配はないので長い昼食時間をとる。

食後は府県道尾根筋を北へ伊香立越えと降り進む。道右の南庄側の榊木樹林の黄、紅葉が燃えるようにすばらしい。静寂の中我々だけの鑑賞は最高の贅沢、山歩きだけの特権だ。観光バスでは案内してくれない絶景場所である。

左下に古知谷大原ゴルフ場が視野いっぱいになり、横杉止が大きくかぶさる様に映る。

支尾根がゴルフ場と伊香立へ上分かれる。踏み跡道も消える。伊香立越え道が消えたのでゴルフ場支尾根の植林の仕事道をゴルフ場奥目にかけて下降する。ゴルフ場の作業道に下



### ファミリー&グループスキーツアー決定版!

▲カニスキとハチ高原スキーの旅<2泊3日>12/27~3/20 毎日出発

高松 本センソナラヤ ベンションのうさぎ ニュー丸藤  
 1日目 大阪出発21:00頃(ハチ高原到着12:00頃)  
 2日目 終日フリータイム(スキーでお楽しみ下さい) 夕食カニスキ  
 3日目 出発までフリータイム ハチ出発15時頃(大阪20時頃)

2泊3日コース ¥16,500より

◎宇奈月温泉とスキーの旅<2泊3日>1/3~毎週金曜日出発

高松 宇奈月ランドホテル  
 1日目 大阪出発21:00頃(宇奈月中泊)  
 2日目 宇奈月(7:00頃)到着後フリータイム(ホテル泊)  
 3日目 宇奈月(13:00頃発) 大阪(21:00頃着)

2泊3日コース ¥21,500より

\*上記A・Bコースは日数人数によりJP料金が異なります。詳しくはお問い合わせ下さい。

サンジョインシアセンター

大阪府北摂市田辺1丁目1番-11(06)大原駅前ビル111号  
 ☎(06)3444-3077  
 ●ツアーカウンター 大阪府北摂市田辺1丁目2-2-20  
 大原駅前ビル2F1号  
 ☎(06)3448-0701

り、クラブハウスの横を通って、伊香立越えからの林道に出る。舗装道路を国道367号に出る。園道を横切り山道古知谷バス停に着く。京都バス15時55分発が遅れていらいらしい。16時になって上がってきた。やはり大原街道が停滞滞難のせいらしい。10分遅れで出発。大原止まりで乗り換えが又大変。ものすこいほどの観光客が京都バス停に並んでいる。市バス側はそのわりに空いているので並んで15時半過ぎに全員乗れ、大原直山山行を終える。

〔コースタイム〕  
 大原バス停(20分) 音無の滝(20分) 大治橋  
 出発(1時30分) 音無山(1時10分) ゴルフ



音無の滝

品谷に落ちる滝の名も天理院を起した娘元大御長人が、明が亂されるのを現文で本音を止めたことから「音無の滝」と伝えられている。声明とは仏教梵唄(念珠・梵唄)で、ここから品川、神川の谷の名が付いたとも言う。また音がまわらなく凍ることを「音無」が、小野山の上で七りおつる滝の名

### 音無の滝

○大原の里の地名由来を説き及んだので加筆する。中世までは小野の巨と呼ばれ葦葺山一体を小野山と言われた。長和3年(1014年)白河院の時代、天台宗の支山に大原(山田宮)魚山からとり、魚山大原寺勝林院が開かれて以来大原と呼ぶ。それ以前は小野の郷、以後は大原の郷。

米田院村、勝林院村、草生村(葦葺院村)、上野村、大原院村、戸吉村、野村、井出村ら八ヶ村を合併して明治16年大原村となり、明治22年小出村、百井村、大見村、尾崎村ら四ヶ村を合併せ、昭和24年京都市に編入京原大原の地名になった。

### 名

音なしにのみ めるる種かな

朝夕に泣くおを立つる小野山は

納えぬ涙や 音無の滝

夕霧の巻・落葉の音歌

大原の山 小野の山 や音無の滝を詠んだ古歌が残る。

○サブコースとして葦葺山頂上分岐から右へピーク662mから小野山670mの峰を通って仰木峠に出て大原街道野村の坂に下山するか、さらに水井山、横高山へと足を延ばし横川越え鞍部から近大陣道を長谷田登山口へ降りる人ぞれしない長いコースもある。仰木峠までは、関電道線踏切への里道があり迷うおそれあり、尾根を外さなければ仰木峠に出られる。

※北山七名瀑キタヤマセンボンフォール  
 鳥沙門の滝、正の滝、日祥しの滝、香提の滝、海文の滝、音無の滝、霧谷の滝  
 (地形図) 2万5千1:1 大原 昭文社「北山」(山口 憲次)



二上山に芭蕉の足跡を訪ねて

松永 恵 一

二上山

二上山  
大和盆地の東と西の西端の地に美しい二つの山がある。東の三輪山に西の二上山。  
三輪山は神奈備の山として、神そのものとして信仰された。ひたすらあけぼのの光を求めて東に進めば湯取を経て伊弉諾の神の御宇勢へ、さらに東國へと通じていた。

二上の双輪。北の高い方を建部517日附の方を藤原イフ4とよぶ。美しい峰のあいだに沈む夕日。二月はまきまきの二月が最もよいので、玉くしげ二上山に沈む。武田祐吉博士は「上代日本文学史」に記す。夕日の沈む山に對する古人の畏怖。その山に、雁死した大津皇子の屍を埋葬した。万葉集の二上山は悲劇の墓山であった。春日の中でその思いはいつそう深くなる。

大津皇子の屍を葦原の二上山に移し、大津皇子の哀しむ御宇勢歌  
うつそみの人なるわれを明日よりは  
二上山を筑世とわが見お  
〔万葉集 卷々、165〕

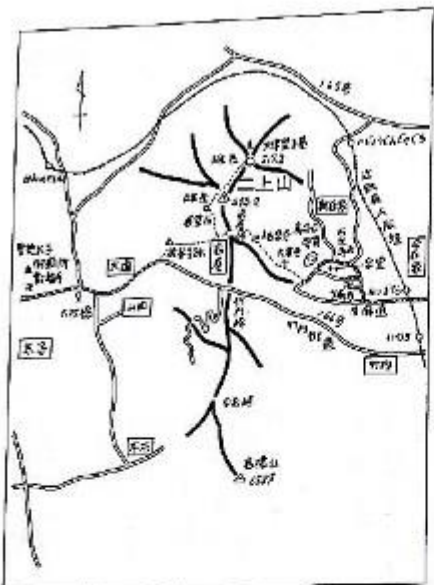


高瀬と当麻  
松原高瀬が三麻の塚を前れたのは百零元年(1684)。「野ざらし紀行」と、四年後の元禄元年(1688)「愛の小文」の旅の時であった。「野ざらし紀行」の旅には当麻町竹内出身の門人千里を伴い、その縁で竹内にしばらく逗留した。「野ざらし紀行」は云う。  
「何れ冬千りといひけるは此たは路のたすひとなりて、黄いたはり心をつくし侍る。言に冥途の交ふかく、眼を空に信あるかな此人。」



大和國に行動して、墓下の群竹の内と云所にいたる。此處はれいのちりが旧里なれば、日比とごまりて足を休む。  
墓よりおくに家右

わたがやや語世に思む竹のおく  
「二上山」に記す。庭上の松をみるに、月千とせもへたるなうん。大いさ牛をかくすともいふべけん。かれ非竹といへども、はなはだはひかれて、斧斤の罪をまめがれたるを、手にしてたつとし。  
僧御願死かへる法の松



西暦四十一歳、千里三十六歳であった。千里は柏原五郎、あるいは酒屋登道門といひ、日振成、又指馬十とも呼んでいた。慶安元年竹内に生まれ、享保元年竹内に没した。竹内の苗部氏の墓地に千里の墓があり、「元禄又柏原居士 享保元年甲申七月十八日」と刻まれている。享年七十二歳。  
西原が滞在した地は細路塚の句碑となつて、竹内の古びた参詣の墓手にひきまわっている。

当麻寺の考案も今はない。中々坊前に板壁いされた古松の株「いらいこうの松」が、老松の面影を伝える。二代目の法は中々坊の支那彫に類えられ、徳元にも碑が建てられている。

それから四年後、元禄元年、芭蕉は奈良から八大に出て、四月十二日に再び竹内の地に入る。しかし、「愛の小文」にはこのことを細

った記事はない。元禄元年四月廿五日附で郷里野首の松七(猿蓑)に送った一函が、芭蕉の足跡を仔細に伝える。

十二日竹の内いなが茶舎に入る。うなぎ汲入れたる水瓶もいまだ残りて、わらのむしるの上にて、茶瓶のもてな、かの布子うりたしと云ひけん萬菊のきる物のおたひは彼におくりて通え。おもしるさおかしきもかりたはぶれにこそあれ、實のかくれぬものを見ては、身の罪がやへられて萬菊も折し茶漬おきへかねられ候。當麻に詣りて萬のたつときもいまをみるまでの事にこそあなれ、雨降出でたるを帯ひにこそそそに過ぎ、露間にて太子に若く、野田八幡にとまりて、通明寺、藤井寺をめぐりて、つこの國大江の山にやどる。いまの八間屋久左あたり也。  
杜若詠るも塚のひとつかな 愚作

コース概観  
今回は、元禄元年「愛の小文」に於ける芭蕉の足跡のうち大和無地に美しい双峰をみせている二上山を訪ねる。ボタンの花と中曾姫伝説で知られ、創建当時の東西両塔を挟み「当麻寺」から園遊池にたぬ草を踏へと登り、坂道の石堂寺の流れを渡り「若屋」から右の尾根をとり、古代寺院の基壇に使用された

凝灰岩の採石地に残る「龍谷寺跡」を訪ね、西安の龍谷寺の小雁塔の外形に酷似する十三重石塔にシルクロードの思いを寄せ、竹内街道へ入り「大造」の名を残す山荘の集落から、陽長谷の御墓太子の御墓を守る「龍谷寺」まで足をのびます。

近鉄南大阪線の当麻寺駅で下車。駅前の名物の五餅(中野餅)の茶店から西へ、門前町の面影の色紙く残る参道。途中、相模川祖宮麻呂遺跡の家や、旧家の軒先に吊つてある龍吐水(昔の消防ポンプ)を見学しながら行く。東向の仁王門に降り、門をくぐりまっすぐ進む。東西の本堂(龍谷龍庵)を参拝する。境内は本堂を塔頭が東西に並ぶが、よくみると東西二重の塔や金堂・講堂が南北に並ぶ。西の本堂の講堂のような伽藍が遺蹟になっていたことがわかる。

国史「当麻寺跡」は、聖徳太子の弟麻呂子皇太子(聖徳太子)の孫、当麻田見真人が造営したと伝える。中將姫が五色の蓮の糸で織りあげたという「当麻曼陀羅」(栴檀淨土を表現した)「当麻曼陀羅」が、熱烈な信仰を生んだ。中將姫が生身のまま蓮葉往生を希望したのを再現するのが「お練り」。この聖徳太子御誕生会は、5月15日に行われる。このころ

牡丹が境内を彩る。金堂前の石燈籠は日本最古のもの。龍谷寺付近に分布する凝灰岩に似ている。

北門を出てまっすぐ行くと、左手に墓地がある。地蔵堂をまっすぐ入った古墳に、ひっそりと立っている花崗岩製の十三重の塔がある。山将姫の墓と伝える。まうに直進すると当麻小学校を経て石光寺。境内、凝灰岩製の仏が出土し、脚光を浴びた。この寺も中將姫ゆかりの寺で、境内に蓮葉曼陀羅の糸を染めた染め井があり、染寺とも呼ばれる。当麻寺とともに牡丹で有名なが、染井は見落すとさない小字校跡。まう、引き返し右に折れる。古い民家が多い新住家の集落から民家が田圃の間に点在するようになり、さらに登っていくと新池の東畔にある森堂に着く。一辺40坪あまりの方柱の上に、宝形蓮の屋根がのせてあるような珍しい形で、本瓦葺きの屋根の頂上に瓦製の宝珠塔をのせている。土地の人々は左様五郎の作と伝える。山の辺の道の長持寺の山門前から参道を登って5〜600坪ほど下ったところにある五輪堂(四面が正面なので真面堂とも呼ばれている)とよく似ている。

この新池の西方の屋敷の先端部に大津貞子古墳ではと騒がれた高谷口古墳がある。方

道を進む。凝灰岩の露出した尾根道を、大岩の間を抜けたり、すべり降りるようになっている。ちよつとした石垣根歩きの気分。

「龍谷寺跡」は凝灰岩の採石地に残る。凝灰岩を切り出した後小さな平地を造り寺域とした。凝灰岩を切り出す当初から寺院にすることを計画し、北側に凝灰岩を彫り残して造った大きな十三重塔がそびえ、その東側の岩壁には西面する石垣を造り、石垣内には如來坐像二尊を納める。

寺跡から竹内街道(国道116号線)へ出る道は、灌木のトンネルをくぐり、細い谷川を下ったものであったが、「万葉公園」計画で道が整備され、左右どちらの道をとっても駐車場に下りようになっている。左の道をとるとこれも地山からつくられている方尖礫状の塔を見ることが出来る。駐車場にはロブキヤビン風のトイレが設置されているのが嬉しい。

つり池を右にして平坦な車道を下る。道標に沿って右折し旧池をとり、「大造」の名を残す集落に入る。日本書紀推古天皇21年(613)、「龍谷より京に至るまで大造を造く」とある「大造」である。大化改新を断行した聖徳天皇の「大造龍谷院」や、輪のたもとの茶店の餅屋にちなんで名付けられた「餅屋院」

墳で、墓室は二上山産出の凝灰岩を使った横口式石室。出土遺物や石標の横造りなどから、7世紀後半頃に築造されたものと考えられている。

左につり池、右に石仏を見る。ころから雑木林の中をめぐり登るならかな坂道となり栴檀寺に到着。モミジの古木が茂り、初夏は新緑、秋は紅葉が美しい所である。道は「三輪泉寺」二本に分かれる。右にとると池に水があふれる細い谷間を急登して、せまい雑木林を抜けると雄岳・龍谷の鞍部(尻の背)になる。左の道をとり倒木に注意しながら溪流に沿って右側の多い池を登ると聖徳寺。視界が急に開ける。太子信仰で名高い大和の当麻寺と境内の龍谷寺を最短距離で結ぶのが岩屋遺跡。岩屋跡で蛭生式土器の破片を採集しているため、この道はかなり古くから利用されていたと考えられる。

奈良時代の石室寺跡「岩屋」は、時のすぐ南側、左下にある。岩屋跡と名付けられた古木のある平地の東側の壁の、にぎりこぶし大の角レキを含んだ凝灰岩をくり抜いた西面する石窟で、中央に三重塔を削り出し、北面に三尊の仏像を彫りだしている。石窟の天井には並ぶ孔があり、木造の屋根を造りだしていたものらしい。



関西周辺

# 晩秋の山

## 特選 コースガイド

- ①住塚山・国見山
- ②奥ノ深谷源流
- ③天狗倉山
- ④横山岳

北アルプスは冬山のシーズンに入る。関西周辺の山々は紅葉、苔藓に染まっていく。大台ヶ原など1500m級の山は10月中旬から色づき始め、それが紙山へと目ごとにはび



11月から12月はハイキングのベストシーズンだ。天候も安定しさわやかな晴空が続く。やや肌寒くなっていくが、発汗も少なくて歩きやすい。

晩秋の山

近頃は低山は11月中旬が白雲になる。枯れ葉が舞い、山道はジュワケンのように色とりどりの落ち葉が散り積もる。紅葉に顔を染めながらこんな山道を歩いているとき、山歩きの良いを感じた。ドンクリが登山落ちていたり、槍に赤い糸を発見したりする。目を追って経が短くなった。また夕暮頃なのにもあたりは暗くなる。秋の日暮れはつるべ落とし、あまり遠方の山へは行かない。最近なコースをのんびりと歩くほうがよい。よく朝霧が発生することがある。雨ではその心配するが、こんな日はさまってしまふ気になる。そして日中は涼みきった背が広がる。風もなく絶好のハイキング日和になる。

やがてすつかり葉を落とした山々に冬がやってくる。朝霧いとおくうになるが思い切つて出かけてみると意外に日中は気温も上がり日だまりハイキングが楽しめる。あるいは山で初雪をみることもある。一昨年の12月初旬、とても寒い朝だったが、台高山系の明神平へ行った。登るにしたがい雪の山を歩くようになつて、霧氷の景色を楽しんだ。思わぬ寒しさにみんな歓声を上げた。

年末は山の会など新年会山行を実施する。賑かい節を頭んで今年の山行を振り返り、新しい年の抱負を話し合う。

の石碑が今も橋の傍らに立っている。直進して六枚橋の交差点を左にとると、聖徳太子の御廟所を守る「御福寺」である。聖徳太子の御元年（724）就願によって伽藍が造営された。

石段を上り山門をくぐり、広い境内を通り一段と高くなった御廟所は、弘法大師の作と伝えられる梵字を刻む石柱がめぐらしてある。中央には太子の母后である穴穂部間人皇后的石棺を置き、東に聖徳太子、西に太子妃の廟、大郎女の袈裟製の棺が取められているという。

門前のバス停から近鉄宮志駅に出る。

☆コースタイム

近鉄阿倍野橋駅（徒歩約5分）近鉄当麻寺駅（15分）当麻寺（15分）石光寺（30分）栂栗寺（30分）岩屋峠（15分）雙岳（15分）雄岳（30分）雌岳（20分）阿倍野橋駅（徒歩約25分）阿倍野橋駅

☆費用）近鉄阿倍野橋駅→近鉄当麻寺駅（乗用）

聖徳寺門前→近鉄宮志駅  
440円  
160円

近鉄宮志駅→近鉄阿倍野橋駅  
310円

☆地形図）2万5千1大和郡田

☆同じ合わせ先

金剛バス本社	072-222-2286
当麻町役場	074548-2811
太子町役場	0721(98) 0300
当麻寺奥の院	074548-2008
当麻エース	074548-2811
聖徳寺	0721(98) 0019

※現在一上山遊歩山頂に登るには入山料がいる



**GAIA**

キャンプ・ハイキング ザック

テトラ 48ℓ 送料 ¥9,000

アリゾナ35ℓ ¥6,800

GAIA JAPAN

**ヨミスポーツ**

〒543 大阪市天王寺区南船場4-70

TEL06(772)7231

FAX.06(779)2191

特長

- ① パラレル、インナーフレーム付
- ② スーパーファストベルト付

特選コースガイド①

屏風岩から

住塚山・

国見山へ

室生

中級コース(★★★)  
濱田啓司

名道を出発した掛中道通行きのバスは、青  
蓮寺池から紅葉に映える香澤溪を通過して、  
太田路に入る。進行方向の右側上方には、  
岳兜岳の特徴ある名のピークが見え、東西  
2.0にわたって延る屏風岩が見えてきた。  
長野で下車。学校橋の小さな川に沿って上

がり、だんだん登りの舗装道路を道標に従っ  
て屏風岩に向かった。村は楓が色づきコスモ  
スが咲き乱れ、龍標が垂れて秋の山村の雰  
気が楽しい。

振り返ると古光山のこうごつした山裾が  
見え、その左には信留山や二本ボソ、お池  
のスキの草原が美しく見えている。屏風岩  
に近づいた所で音が分かれているが、右の舗  
装道路をとり屏風岩を目指して進む。左は地

道で、この林道は屏風岩の裾をまいて西に向  
かってしまふ。更に登ると下字路に出た。地  
道を左に取ってひと登りで屏風岩の公衆トイレ  
に着いた。ここは水場は無いが昼食場所として  
最適だ。

柱状節理の岩壁が崖上に迫り、紅葉の灌木  
が映えて見事な眺めだ。屏風岩の崖の木の  
も紅葉している。十月下旬くらいなら足下は  
はリンドウの花も咲いているだろう。パンガ  
ローもあり、洒落たログハウスの立派な手紙  
いも出来ている。このペラングからは三峰山  
地の山姿も見えていた。

ひと息入れて先を急ぐ。屏風岩に沿って西  
に向かった。すぐ杉の植林があるが、ここを  
右に曲がり、杉の植林の急坂を屏風岩の  
峰の頂上を目指して進んだ。この急坂は見た  
海でもなく20分はかからなかった。

登り切った所から今度は岩壁の上の部分に  
沿って後線沿いに住塚山へ向かう。この後線  
の右側は植林、左側は灌木の急斜面で、下は  
見えないうっしゅの杉植林は見通しが悪く、  
頂上付近の灌木の間から、やっつと形のよい  
国見山が見えた。

すぐ住塚山(1009.4m)の頂上に着  
いた。この山は室生側では次郎岳と呼んでい  
る。本来は素晴らしい展望が楽しめる所だが、

可愛い野菊の花が沢山咲いていた。紅葉も葉  
落ちらしく見通しもよく、楽しい山歩きだ。

住塚山から約40分、国見山(1016.6m)に  
到着した。ここは国見山の各名前がピクニックの  
文字通り、もも度の展望台で、至牛火山群の  
山々をはじめ周囲の山が遠望にも恵まれて見  
えた。頂上には小さなお地蔵さんが立って  
いた。心行くまで展望を楽しんで下りにかか  
った。

北西に降り出した尾根を下る。すずきと紅  
葉の山は下るにつれて緑の山に変わった。小  
さなピークの松の山を越えるのだが、この登  
りは意外につらかった。尾根の西側は見通し  
が利いて気持ちが良い。松の山のピークから  
丸木の階段をぐんぐん下りクマタワの荒池に



屏風岩にて

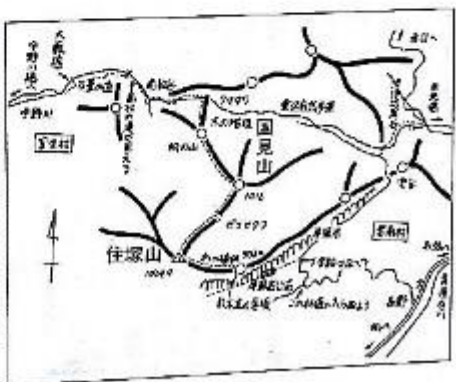
然急道に出た。ここはよい休憩場所、立派  
なログハウスの手洗もある。

ここから黄蘗側を下って、屏風岩の下を通  
りたけに出る道も通れる。また途中から  
清浄埃袋谷に入り、約1時間10分、奥香澤  
高原ロッジ、更に20分、檜橋のバス停に出る。  
マイカーを黄蘗に置いて来たのなら、このコ  
ースを測って元の所に戻るのがベストだ。

今日はこの道をさす宇野川橋から室生方  
面に出る。室生側へ下る道は短い山道だ。少  
し下るとすぐ沢筋の道になり、何度か沢を  
渡った。南松谷本流に出る所でゼニヤタワの  
鞍部から下ってきた道に合流した。南松谷の  
左岸へ渡ると道は谷底からかなり高い所を通  
っている。更に下ると木の間越しの右下に南  
松の滝が見えた。

道に時々石骨が現れ、更に下っ  
て石壁の道に変わったらすずき大蔵  
橋に着いた。東海自然歩道の道標  
が立っていた。ここから宇野川橋  
のバス停へはもう一頑張りだ。太  
陽の陰った宇野川林道をのんびり  
下った。

秋の谷間の日暮れは早い。バス  
の時間の都合では室生寺まで歩こ  
う。宇野川橋から龍穴神社を通つ



現在住塚山付近だけ域かにフシシユが刈り込  
んであり、あまり展望は利かない。しかし木  
立の間から、東に信留山や古光山が見え、  
その遙か向こうに三峰山が見えた。

ここから今度は北東に国見山を目指す。住  
塚と国見はほぼ同じ標高だから、下った分た  
け登る訳だ。尾根を下ってゼニヤタワの鞍  
部に出た。北西に下れば南松谷だ。鞍部から  
登りに掛かる。龍標のフシシユが続き、頂上  
に近づくとつれて樹陰になった。この辺りに

て室生寺までは30分位で到着する。

このコースはクマタワを下るまで水場がな  
いので必ず水筒を用意しよう。また近鉄は上  
本町から名室まで急行で約1時間10分、三重  
交通も特急まで1時間は掛かるので、朝は早  
い目に出掛けようにした。

マイカーなら日曜日は龍河役場の駐車場  
に回らせて貰う事も出来るだろう。しかし香  
澤溪は非道な道が狭く、秋の休日は特に混雑  
するのでマイカーはあまり薦められない。

(昭和61年10月発行・平成3年7月改訂版)

コースタイム

- 住塚山(1009.4m) 屏風岩(1016.6m) 住塚山頂上(1016.6m) 国見山頂上(1016.6m) クマタワ(40分) 大蔵橋(35分) 宇野川橋(40分) 大蔵橋(35分) 宇野川橋(40分)
- 岩文社(1) 赤日(1) 龍穴神社(1) 龍穴神社(1)
- 室生交通バス案内所
- 0742(22) 1171
- 0555(21) 1434

三重交通上野山案内所  
0555(21) 1434

坊村から

奥の深谷  
源流へ

比良

初級コース(★)  
秦 康夫

奥の深谷は、高層温泉で有名な八雲ヶ原にその源を発し、途中ヨキトウゲ谷、白滝谷、更に口ノ深谷の流れを合せて明王谷となり、坊村で安曇川の上流である葛川に注ぎ、比良屈指の深谷である。

起点の坊村へは、京都バス出町柳7時35分發、葛川橋の本行が便利だが、JR湖西線で堅田まで行き、8時45分發安曇川は時間差更江若バス葛川細川行に乗る方法もある。

さて、坊村からは約3.5kmの林道歩きがつつく。身支度はバス停の建物の中でもできるが人数が多い時はすぐ末にある地主神社の境内を借りるとよい。ついでに、お賽銭をあげて今日の山行の無事を祈願しておこう。神社の左手に道標がある。橋を渡って登っ

て行く道は西雨を避けて赤茶ヶ岳に達する御殿山コース、奥の深谷へは明王谷の左岸の広い林道を行く。テント場を過ぎると道は谷を離れ、右に左に林道曲がり角を繰り返して徐々に高度を上げて行く。途中、修験者のための護摩堂などもある。谷に近づいて明王谷の瀬音が響き渡る頃、二の滝と書かれた古い茶内板が目に入るが、滝へ降りて行くまともな道は見当たらない。

間もなく三の滝降り口の標識が現われる。手頃なベンチもあり、一服するには恰好の場所である。少し時間をとって流を見物してみるとよい。往復15分もあれば十分だろう。勾配が急ではあるがしつかりとした階段状の道がつけられており、3〜4分も降りれば流を左正面から眺める滝見台に達する。

の小さなお堂と、それにかぶさるように大きな根を張り出した見事な杉が二本あり、雨あがりの時など、ここから眺める流は、荒々しい清流を広い漣道に落とし、時には大きな流木も巻き込んで豪快そのものである。

林道に戻り歩き出すと、すぐ左手に、冷たい岩盤水を受けた水場がある。ここで水筒を満たしておこう。間もなくワサビ谷との出合いとなり、右に登る道は白滝山への伊藤新道である。明王谷は、谷向こうに大きく聳える

奥の深谷源流



シラクラの壁の前で左に口ノ深谷を分け、更に三つ目の橋のところで右の白滝谷と別れて本流の奥の深谷となる。

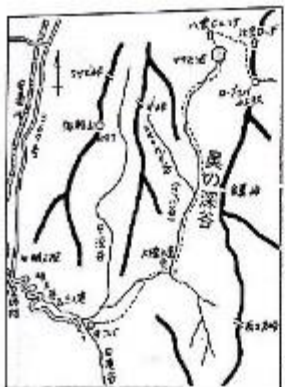
ようやく林道歩きが終わわり牛コバに着く。道なりに進めば大滝流の方へ行ってしまうので、ここで道標を確かめ大橋小屋方面へと左の細い山道に入る。道はいったん谷に近づくと、沢登りルート入口のところからすぐ登りとなり、雄水帯の中、七曲がり八曲がりシジ

ザグの急坂が続く。このコース唯一の本格的な登りである。無理をせずマイペースで着実に高度を稼ぐことにしよう。

いい加減ウツリする頃、道はやっとまたうかとなる。このあたり、比良縦走路の尾谷山から摺鉢山のピークを経て北西へ伸びる広い稜線上である。奥の深谷へ落ち込む支谷の源頭をいくつか通り過ぎ、ゆるい上り下りを繰り返しながら、道は徐々に谷に近づき、沢の音がにわかによりなり奥の深谷に出合う。丸木橋を渡ったところで小休止。

道標に従って進むと程なく小広場がある。道は流に沿って直進しているように見えるが、大橋小屋へは、木につけられたテープに注意して直前に左に折れる山道に入る。

しばらく快適な林間散歩が続く。大きな台



杉が何本かある。左に、中幹に至る小川新道を分けると、間もなく膳屋橋の大橋小屋に着く。また大橋がある。橋の手前と苔のついた大きな岩があり、滑らないように慎重にこれを越える。

かわいなお地藏さんのある小広場で南比良神への道と別れ、黒砂阿岩、金澤神方面への道標に従って左に折れる。源流沿いの道は沢に近いので濡れたり、時には小流も現われる。このあたり昼食や休憩には絶好のポイントが多い。まるで巨根のひさしのように道の上に張り出している大きな岩(黒砂阿岩)の下を通る。見上げる岩の割れ目に古いハーケンが打ち込んである。

流れが少しおだやかになってくる。左岸に渡り、左にヨキトウゲ谷に沿って中幹に至る道を見送り、片側に手すりのついた二不丸太の橋を渡ると道標がある。右は金澤神への道である。左をとる。広場を横切り、右岸へまた左岸へと渡り返す。

奥の深谷源流(コッパ谷)の流れも揃くなり、比良ロッジへの分岐を過ぎると、八雲ヶ原の源原が現われる。道は二本あるが右手の細い方の道へ入って林道を歩き、奥の深谷特有の珍しい植物をじっくり観察しよう。

八雲ヒニツテのあるスキー場のゲレンデに

出てリフト沿いに登り、広い道を行けばロープウェイ山上駅は間もなくである。

下りはロープウェイとリフトを利用すれば楽だが、時間に余裕があれば北比良峠からダケ草を経てバス停イン谷口へ出るコースもある。一本道で送る心配は少ないが、雨水の通り道になっているのでルートは相違点があり、足元には充分注意して歩く必要がある。

(平成3年7月22日歩く)

コースタイム

- 出町柳(バス)時間20分 坊村(15分) 三の滝降り口(滝見台)時間15分 (5分) ソサビ谷 出合 (20分) 牛コバ(1時間10分) 奥の深谷 出合 (20分) 大橋小屋 (10分) 南比良峠分岐点 (10分) 金澤峠分岐 (10分) 八雲ヶ原 (20分) ロープウェイ山上駅 (ロープウェイ) 20分 シヤカ岳駅 (リフト) 15分 比良山麓駅 (バス) 20分 1 比良駅

費用

- 京都バス 出町柳→坊村 860円
- ロープウェイ&リフト ロープウェイ山上駅→比良山麓駅 860円
- 江若バス 比良リフト前→比良 250円
- JR 比良→京都 640円
- 計 2660円

特選コースガイド③

みやま わしげ  
海山町鷲下から

てんぐらさん  
天狗倉山へ  
南紀

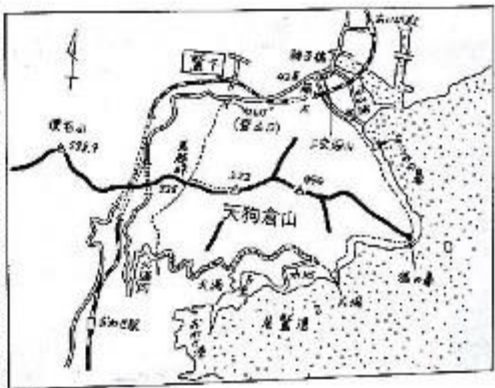
初級コース(★)  
小山 ひろし

天狗倉山は、尾鷲市と北紀郡海山町を南北に分ける稜線上の、大きなコブである。標高522.0mからの眺めは、感望良と記された地図がある程に素晴らしい。一般コースとしては、海山町鷲下から同郡野街道の馬越峠を経由するコースと、尾鷲側から馬越峠に登るコースとの二つがある。いずれも登山口から約1時間30分、頂上の岩場さえ気をつければ危険な所はない。山全体の姿は尾鷲側からしか見えない。海山側からは、頂上に着くまで天狗倉山なのか全くわからない。  
JRを利用する場合は海山町の相賀(特急は停車しない)か、尾鷲下車、相賀駅から国道42号線沿いの鷲下の登山口までは2.5km。駅前から尾鷲市瀬木山行のバスが出てい

る。バス停の名称は「鷲毛」となっている。尾鷲から登る場合は、駅から北浦町の登山口まで約1kmである。

東名阪の幹線I・Cから伊勢自動車道を経由して国道1号線を直ぐ、約1時間半で海山町相賀の「おわせドライブイン」を通過。ここから三つ目の信号を過ぎた所で長い橋を渡る。左手に海が見える。橋の手前である。橋を渡った右手に町営グラウンド、左に三重交通海山営業所がある。地図上の地名は藤ノ木。バス停の名称は三交海山である。登山口のバス停「鷲毛」は約1.5km先である。

登山口を9時45分に出発。コンクリートの細い坂道がバス停からいきなり、樹林の中へと伸びているが、それはすぐに風格のある石段に変わる。旧龍野街道がまだ生きているのである。爪の赤いカニが数匹遊んでいる。足元からヒグラシがとび立つ。国道からわずか数10m入っただけで、まるで別世界だ。15分程度で変位し地蔵原に着く。花崗岩の洞にカタヒバが生えている。この辺りシダ類の宝庫だ。「国道57.5m、時10.9.5m」の標識がある。洞のすぐ先に小さな谷があり、一枚岩のみで石橋が架かっている。10分程度でまた谷を跨ぐが、湧水跡には枯れてしまっている。海を感じた。樹林を縫って更に10分登ると、海



山町文化財指定史跡、馬越一里塚に着く。案内板がなければ見えない程の石積みである。「時62.0m、国道10.5.0m」の標識がある。石橋が見事だが、かなりきつい登りだ。5分程度で巨木工事の林道を横切る。天狗倉山登山口の標識がある。杉や檜の巨木を仰ぎながら15分程度で標高325.5mの馬越峠に着く。往時はここに、若船池遺基、馬越赤屋等があったというのだが、今は殆ど自然に同

化した石積みと、江戸末期の俳人、可楽園桃乙の一夜繁花能上尔音あり山乃木 桃乙と刻まれた句碑だけが残されている。

時を前に下れば尾鷲の町、句碑を左に、細い登山道を行けば、30分登山頂である。しかし30分で、約200mに登るわけだから、これはかなりきつい。右手上方に頂上のどっかい岩が見えてくるとホッとする。天狗倉である。山頂へはこの岩の直下で木道を捨て、右頂上から襲いかかる天狗岩の足元をすり抜けて直登。1分程度頂上に立つ。ピークは天狗岩へ鉄の鎖が架けられている。30人位なら乗々集えそうな絶好の休憩場所だ。西に大台山系北に高丸山、南に八束山、高峯山、東は樹碧の熊野灘。まさに展望良である。

帰路は馬越峠まで引き返し、尾鷲側の中道を巻いて海山町に回り込む海沿いのコース

天狗倉山



だ。馬越峠から南へ10分程下ると左の谷ひょうにレンガ積みの小さな祠がある。湧水が流れ、石積が見事だ。更に10分下ると上役の行者が閉じたと伝える馬越不動に出る。数年前に馬越公園として開発され、今は桜の名所となっている。すぐそこまで民家が来ており、石壁がセメント道に変わる。5分程度で北浦町と水地をつなぐ車道に出る。ここが尾鷲側からの登山口である。馬越自治会に切り込ま板があり、駐車場もある。車道を突っ切りまっすぐ下れば10分で尾鷲神社、更に10分で尾鷲駅だが、海山町へのコースは左(東)の天狗。水地経由である。右に尾鷲港を望下ると、ミカン山を縫うように続く車道で、約1時間かけて歩くわけだ。少々しんどいが、モンキアゲハ、ミヤマカラスアゲハ等が乱舞している。楽しい。

案内板から20分程行くと老人ホーム「長寿園」がある。更に10分行くと、「右、天狗倉へ。左、みかん山へ」という小さな標識がある。みかん山の道をとり25分程行くと、道は切り通しの所でヘアピン気味に右に曲るが、曲る直前で車道を捨て、左手の地帯に入る。赤土のゆるい坂を下って、いくと広場があり、広場の先は海である。広場の左奥から雑い道が海に向かって下りている。数分歩くと、幅2.5m

以上のしっかりした道に出る。海山町小山浦への道である。あとはほぼ平坦なこの道を、右手に海を眺めながらのんびり歩いていけば、約1時間程度で、国道42号線沿の、三交交通海山営業所の手前になる。

広場から尾鷲市と海山町の境界の畔、猪の鼻まで約1時間だが、この間が殆ど整備されていないので、せつかくの道幅が、ウラジロやヤシダで所々狭められや、歩きにくい。夏場は長袖の方が無難である。海山町側は、林道として整備されており軽快に歩が進む。猪の鼻からあらみの方まで35分。ここから海山町が一望できる。5分程度で熊野灘への登山口に到着。右に下れば、8分程度で小山町幹の直徑10cm程もある樹が枝を張っている長泉寺の境内に入る。三交交通海山営業所まで余す所15分である。寺に下りるとそのまま林道を下れば三交海山まで約20分だ。時間に余裕があれば、長泉寺から東へ1分の小山浦海岸に遊水とよむ。(完成3年7月14日歩く)

コースタイム  
鷲下登山口(15分) 夜立ち地蔵(20分) 馬越一里塚(20分) 馬越峠(30分) 天狗倉山(20分) 馬越峠(20分) 馬越公園(3分) 車道(60分) 海山の山道入口広場(60分) 猪の鼻(35分) あらみの鼻(30分) 三交海山営業所



特選コースガイド④  
静かな山歩き

晩秋の  
横山岳

湖北

上級コース (★★★★)  
山本 一 男

湖北の山は京阪神から近く感じるが、そのぶん訪れる人も少なく、静かな山歩きが期待出来る。足の揃った仲間と少人数で訪れるのに最適である。列車やバス利用だと目的地はややきついかも知れないが、マイカーを利用し、早発すれば十分日帰りができる。

横山岳は登山口までマイカーが入るし、駐車スペースもあるのでマイカー利用には好都合である。湖北の山を代表する山で、地元の人がよく通う山なのか、登山道もしつかりしている。しかし谷にそった道は渡渉箇所が多く、又上部は急登が長時間続くので、かなりハードな山行を覚悟して欲しい。

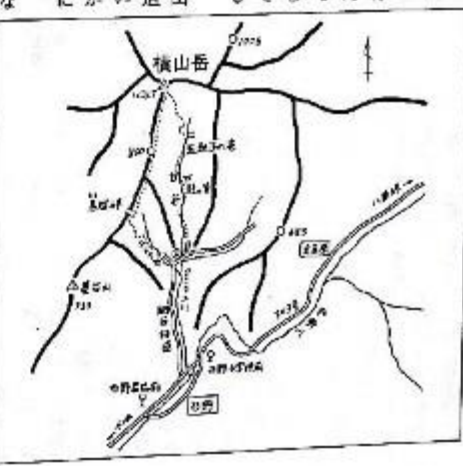
京都から名神、北陸道を經由して木ノ本インターでおろる。国道303号線を東へ八草

峠方面へ。約20分で杉野の集落に入る

く、道脇に「横山岳登山口」の案内板が目につく。左折して集落に入ると又案内板があり、それにそって別谷林道を行く。約5分で横山岳と書かれた登山口に到着。道端に林道脇に駐車できる。あたりはずっと秋色づき、ひなびた山里はすっかり紅葉に埋まっている。静かな山村の晩秋の風景に心もなごんでくる。

登山口の橋の上から見上げると横山岳がどっしりと高くそびえている。道標にそって、林道をゆっくり進んでいく。約15分くらいで登山口より遠くにある。そこから白谷にそった登山道になり、谷を渡渉しながら登って行く。山頂まで一本道なので迷うことはない。何處か急登箇所もあってやがて大きな流に

出会う。「経ノ滝」である。右岸を渡りながら渡渉を繰り返しながら谷をつめて行く。谷もだんだん緑谷の雰囲気となる。谷の両側は伐採されているので明るい谷だ。やがて突然目を見張るすばらしい滝に出合っと思わず歓声を上げる。高さ約20メートルあるが、これが「五銖子ノ滝」。幾節かに分れて糸を引くように落下している。まわりの紅葉とマッチして



みことな滝である。登山口からここまで1時間お分くらい。滝を見上げるところが草むら広場になっているので、滝を登りながらゆっくり休んでおこう。これから山頂までは急登の連続。バテないよう何か口に入れてスタミナをつけておくほうがいい。

この滝も大きく右岸を登りながら登る。ロープにたよりながらやっと滝の上に出てぼつとす。やがて谷から離れて尾根道となるが、

とにかく急登の連続。途中岩場の通過もあって、かなりのアルバイトを強いられる。五銖子ノ滝から2時間弱でやっと山頂に到着する。

ブナ林におおわれた山頂が今はすっかり葉を落としている。展望は南方が開けて、遠く伊吹山がみえる。下には釜淵湖が神秘的で、その向こうに琵琶湖が広がっている。静かな山頂は登りのに絶好。昼食はのんびりできる。

下山は登路を引き返してもよいが、今回は五銖子ノ滝へ戻り、後述を述べて尾根道から下山するコースを選んだ。山頂からいきなり急下降する。急登後雨の後などかなり滑りやすいので木の皮を踏みながら慎重に下ろう。道はよ



五銖子ノ滝

く踏まれている。急坂を下りるとしばらくは平坦な尾根道が続く。雑木林の中、落ち葉が多い。左右の展望も紅葉が美しい。しばらくはたのしいが、また急登への急坂を下ることになる。最終時は膝部からやや登ったところまで五銖子ノ滝へのコースと別れ、左下山ルートをとる。ここからかなりの急坂をたづんで、やっとコエチ谷の地形に出る。山頂からここまで約2時間かかっている。道端で汗を流し、あとはスキの穂が揺れる中、林道をのんびり歩いて駐車場に登山口までわずかである。

平成7年11月12日歩く

- 登山口 (1時間30分) 五銖子ノ滝 (1時間30分) 横山岳 (1時間30分) 尾根道 (30分) コエチ谷 (10分) 登山口 (急登)
- マイカーが便利 (大阪から登山口まで約2時間30分)
- JR木ノ本駅からJRバス会館前行で杉野学校前か杉野集落前で下車登山口まで徒歩約30分 (会館形) 2方より近江川合流

清川上

登山に必要なものは、  
国産・舶来  
すべて揃っています。

〒604 京都市中京区丸太町通堀川東入  
☎ (075) 211-5768  
FAX (075) 231-0318

山とスキーの専門店

京都 ムラカミ

会員募集

KKG 京都北山グループ

四季を通じてハイキングを楽しむ「京都北山」をメインに、関西一円へ日帰りハイク。遠征もあり。年間約40回山行。年齢・性別不問ですが若い人を特に募ります。

〈事務局〉〒602 京都市上京区藤本町小川西入4  
出口 惣次方  
TEL 075(211)0534

# 沿線ハイキングガイド

近鉄 京阪 阪急 南海 神鉄 山陽電鉄 叡電・京福  
公開ハイク 歩け歩け大会 文学散歩 歴史散歩 その他

- 近鉄**
- マ万歩ハイキング「秋の生駒山を歩く」 11月3日(祝)集合新石切駅前10時(コース)新石切駅→石切神社→旧本町トンネル→慈光寺→時崎→石切寺→南生駒駅(約15分)参加自由(無料)上本町駅乗車06(77) 35566
- マ万歩ハイキング「秋だけなわ地蔵時々吉野山」 11月10日(祝)集合下市口駅10時(コース)下市口駅→池原寺→鳳閣寺→金峯神社→藤王堂→吉野駅(約12分)参加自由(バス代大人580円/小人290円/天土寺乗車06(624) 03882
- マ近鉄登山「マイヤモンドトレールを歩く」 葛城山から金剛山(秋の自然をたずねて) 11月16日(出)17日(集合)11月16日(出)上神社口駅前10時(コース)二日目(二上)神社口駅→二上山雄岳→竹内峠→平石峠→岩船峠→葛城山頂(ロッジ泊)二日目(三上)水越峠→金剛山→同日(城跡)千早城跡→金剛山→同日(林)富田林(約21分)定
- 員80名 大人7200円/天土寺乗車06(624) 03882
- マ読売ファミリアハイキング「河内ふるさとのみち第6回・竹内街道を歩く」 12月8日(祝)集合布忍駅下布忍神社境内9時30分(コース)布忍神社→河内神社→藤塚古墳→白鳥神社→銀座→杜本神社→駒ヶ谷駅(約15分)参加自由(無料)天土寺乗車06(624) 03882
- マ文学散歩「大牟田の世界①一版眼を結集の里」 11月23日(祝)集合富田林駅10時(コース)富田林駅→楠公庵→観心寺→延命寺→富田林(約7分)参加自由(大人200円/小人100円)富田林駅集合(バス代大人610円/小人310円)講師大阪政経女子短大文学教授岡田保雄氏、天王寺乗車06(624) 03882
- マ文学散歩「特別企画・万葉ロマン」かきうひを求めて」 12月21日(出)22日(集合)12月21日(出)名張駅16時(コース)二日目(名)張駅→吉野寺→レックホテル泊(二)日目(ホテル)万葉公園→吉野寺
- マ朝日自然教養「二上山麓万葉の森散策と竹内街道」 12月1日(祝)集合白旗城駅前10時10分(コース)豊城駅→竹内峠→岩船口→(万葉の森)→雌岳→鷹谷寺跡→つり池→大道→上ノ太子駅(約10分)参加自由(無料)お話し西村和氏、天王寺乗車06(624) 03882
- マ鈴鹿セブンマウンテン「祝迎々岳登山」 11月10日(出)出雲朝明茶屋7時(前泊者は朝明茶屋0593(93) 17899)宿代3400円(各自支払)雨天決行(コース)朝明茶屋→滝原の滝→松尾尾根の四ノ沢→岩船峠→羽鳥峠→朝明ヒュッテ(約10分)中幸以上15日(参加費)1000円、要申込3日前まで(名古屋地区)05993(54) 70007(大阪地区)06(77) 35566各係へ



自然の中にとけこめる

旅づくりをめざして12年。

この間、ハイキング・アリアス登山や

昔ながらの湯治場・山間の軒先の

湯場などを訪ねてまいりました。

「自然とふれあうこと」

このテーマをこれからも大切にし

日本各地の美しい場所を

旅したいと考えています。

## 黄葉の尾瀬と奥只見湖

出発日 10/17(木)  
会費 51,500円 (交通費・現地泊2泊1食)  
旅程 ①大阪(22:00発)・京都(23:00発)——北陸道——  
車中(泊)  
②奥只見ダム～尾瀬口——沼山峠——大江川温泉  
——尾瀬沼周遊——尾瀬沼畔(泊)  
③——沼尻——白砂峠——見晴十字路——尾瀬ヶ  
原横断——山ノ鼻田代——鳩待峠——芦倉——  
越後湯沢(泊)  
④——北陸・名神——京都・大阪(19:30着予定)  
(添乗員同行・最少催行人員25名)  
\*92年度尾瀬年間スケジュール計画中。

## 剣山と秘境・祖谷溪

期日 11/2(土)～3(日)  
会費 46,500円 (交通費・現地泊4食)  
旅程 ①新大阪(7:45発予定)・新神戸——岡山——阿波  
池田——大分県観光——祖谷溪と祖谷温泉入  
浴——かざら橋——東祖谷山村(泊)  
②——見ノ越——西島口——剣山——西島神社  
——見ノ越——貞光——阿波池田——岡山——  
新大阪(20:00着予定)  
(添乗員同行・最少催行人員10名)

## 国境の離島、吉岐・対馬

期日 11/2(土)～4(月)  
会費 98,000円 (交通費・現地泊2泊1食)  
旅程 ①新大阪(8:45発予定)・新神戸——博多——博多  
港——彦根・芦屋港——佐々島・はらけ地蔵・安  
国寺——郷ノ浦・女海家の味覚をふんだんに(泊)  
②——島崎半島——郷ノ浦——対馬・姫原港——万  
松院・武家屋敷——見津島(泊)  
③——万間橋・千原山・浅茅湾——対馬空港→福  
岡→大阪空港(20:30着予定)  
(添乗員同行・最少催行人員13名)

## ワンテマ・ハイク 京都北山・腐村八丁を歩く

期日 11/4(月)・18(土)・23(土)  
会費 10,000円 (交通費・昼食)  
旅程 大阪(7:20発)・京都(8:30発)——広河原——グン  
ノ峠——四郎五郎峠——腐村八丁——幸塔家跡  
——小塩上ノ町——京都・大阪(20:30着予定)  
(添乗員同行・最少催行人員20名)

## ミュージアム ミルフォードトラックを歩く

期日 92年 2/1(土)～10(月)  
会費 650,000円 (全車付き)  
旅程 2/1夕方、名古屋空港出発。  
2/2オークランド経由クワイストチャーチへ、  
2/3にチ・アナウ泊後、4日間のミルフォード  
トラック・トレッキング。  
2/8にミルフォードサウンド・クルーズクワイーン  
ズタウンを観光し、2/9オークランド泊。  
2/10夕方名古屋空港着。  
(添乗員同行・最少催行人員10名)  
主催:エムオーエシステム(運輸大臣登録一般旅行業第52号)

企画・主催 旅の本欄・企画室  
(大阪府知事登録国内旅行業第1167号)  
〒541  
大阪市中央区高麗橋4丁目5番13号  
深層橋キンロビル  
☎(06)232-3000  
各コース詳細は資料をご請求下さい。

阪急

▽比良運送トラック「櫻梅の滝」
秋通各コース 11月4日(日)集合
JR北小松駅9時50分(雨天中
止)ハコース→R北小松駅→塩梅
の滝→海岸→ヤケ山→ヤケ山→
狛野→シヤカガ池→リッパツバ

阪急

▽第28回・健康とふれあいハイキ
ング・ウォーキングトライ 11月
3日(御祭会大山新駅)車徒歩8分
宝寺境内(雨天4日)例に順送中
上級コース9時→9時30分、初級
コース9時30分→10時まで、ハコ

阪急

▽「初級宝寺」酒造神社「浄土
谷」奥稲田寺「長閑天宮」(8)
2時間40分(中級宝寺「酒造神
社」浄土寺「ゴルフ場」大沢「時
中の谷」立石橋「奥海印寺」長
閑天宮)13.4時間(10分「工芸
室」浄土寺「浄土谷」ゴルフ
場「大沢」稲造神社「ポンポン山分
岐」杉谷「善峰寺」小堀「立石橋
」奥海印寺「長閑天宮」(16)
時20分

阪急

▽日刊スポーツ「ファミリーハイキ
ング」11月10日(日)雨天中止
「Aコース」箕芸芸園(口駅東側
風川橋)9時30分、北山公園(奥池
コース)苦楽園(口駅)風川上流線

阪急

道「銀水橋」北山公園「北山貯水
池」鶴林寺「鹿谷谷」奥池(約8
分)
「Bコース」箕芸芸園(口駅東側山
手)稲造神社9時30分、会館川右岸
道「奥池コース」芦屋川駅「芦屋
川右岸道」丹波谷「吉野川」ト
ブル橋「奥池」約7分、参加自
由「車手持参下さい。六甲山を美
しくする会主催、阪急山の係06
(373) 5326

阪急

▽山陽ハイキング「六甲山と有馬
紅葉ハイク」 11月4日(日)雨天
10月10日(日)雨天 箕芸芸園(口
駅東側)9時、深田池公園
30分→10時、ハコース「深田池公園
」白鶴美術館「信玄回廊」六甲山景
高線「鳥居道」有馬温泉駅(約12
分)、参加自由無料、神鉄観光事業
部078(591) 1470

阪急

主進、阪急山の係06(373)
5326
▽阪急市囃ハイキング「六甲・天
狗山」野道コース 12月14日
(日)雨天中止、箕芸芸園(口駅東
側)三宮駅から地下鉄新神戸駅下車
か市バス引下車、9時30分(ハコ
ース)新神戸駅「布引貯水池」市
ヶ原「稲妻坂」天狗道「摩耶山」
史跡公園「上野道」観音寺「六
甲駅」(上級回)、阪急山の係0
6(373) 5326

阪急

▽山陽ハイキング「金鳥山・打越
山ハイク」12月8日(日)雨天中止
集合阪急岡本駅前10時、ハコース
同本駅前(箕芸芸園)「保久
良神社」金鳥山「七輪山」東谷地
堤「阪急御影駅」(8)健康回、山
陽電鉄ハイキング係078(612)
2112

阪急

▽朝日ファミリーハイキング「休
憩しいたけ栽培」 12月15日(日)
雨天中止、箕芸芸園(口駅東側)
午前9時00分(笠原山)ゆき急行で
履道駅から笠原のりかえ、ハコー
ス「孝子坂」みかん狩(有料)「
紀ノ山駅」約9分、参加自由、南
海線(箕芸芸園)06(643) 1005、
05、送付・中止の問い合わせ当
日6時30分から難波駅長室06
(631) 1351まで

阪急

▽神鉄ハイキング「六甲山と有馬
紅葉ハイク」 11月4日(日)雨天
10月10日(日)雨天 箕芸芸園(口
駅東側)9時、深田池公園
30分→10時、ハコース「深田池公園
」白鶴美術館「信玄回廊」六甲山景
高線「鳥居道」有馬温泉駅(約12
分)、参加自由無料、神鉄観光事業
部078(591) 1470

阪急

▽山陽ハイキング「六甲山と有馬
紅葉ハイク」 11月4日(日)雨天
10月10日(日)雨天 箕芸芸園(口
駅東側)9時、深田池公園
10時、ハコース「深田池公園
」白鶴美術館「石切道」渡雲
台「紅葉谷道」有馬温泉駅(約13
分)、参加自由、山陽電鉄ハイキング係
078(612) 2112

阪急

▽朝日ファミリーハイキング「休
憩しいたけ栽培」 12月15日(日)
雨天中止、箕芸芸園(口駅東側)
午前9時00分(笠原山)ゆき急行で
履道駅から笠原のりかえ、ハコー
ス「孝子坂」みかん狩(有料)「
紀ノ山駅」約9分、参加自由、南
海線(箕芸芸園)06(643) 1005、
05、送付・中止の問い合わせ当
日6時30分から難波駅長室06
(631) 1351まで

阪急

▽朝日ファミリーハイキング「休
憩しいたけ栽培」 12月15日(日)
雨天中止、箕芸芸園(口駅東側)
午前9時00分(笠原山)ゆき急行で
履道駅から笠原のりかえ、ハコー
ス「孝子坂」みかん狩(有料)「
紀ノ山駅」約9分、参加自由、南
海線(箕芸芸園)06(643) 1005、
05、送付・中止の問い合わせ当
日6時30分から難波駅長室06
(631) 1351まで

阪急

▽山陽ハイキング「六甲山と有馬
紅葉ハイク」 11月4日(日)雨天
10月10日(日)雨天 箕芸芸園(口
駅東側)9時、深田池公園
30分→10時、ハコース「深田池公園
」白鶴美術館「信玄回廊」六甲山景
高線「鳥居道」有馬温泉駅(約12
分)、参加自由無料、神鉄観光事業
部078(591) 1470

阪急

▽山陽ハイキング「六甲山と有馬
紅葉ハイク」 11月4日(日)雨天
10月10日(日)雨天 箕芸芸園(口
駅東側)9時、深田池公園
10時、ハコース「深田池公園
」白鶴美術館「石切道」渡雲
台「紅葉谷道」有馬温泉駅(約13
分)、参加自由、山陽電鉄ハイキング係
078(612) 2112

阪急

▽朝日ファミリーハイキング「休
憩しいたけ栽培」 12月15日(日)
雨天中止、箕芸芸園(口駅東側)
午前9時00分(笠原山)ゆき急行で
履道駅から笠原のりかえ、ハコー
ス「孝子坂」みかん狩(有料)「
紀ノ山駅」約9分、参加自由、南
海線(箕芸芸園)06(643) 1005、
05、送付・中止の問い合わせ当
日6時30分から難波駅長室06
(631) 1351まで

また行きたいから、  
ラクラク積立てて  
「旅したく」。

ツーリストのお得な旅の積立てプラン  
**旅したく**



「旅したく」はいわば「旅行積立て」。ムリのない分割で、大きな額の旅行券が、購入できる、お得なシステムです。その旅行券は、使用期限なし。いつでも、一枚のきっぷ・クーポンから海外旅行まで、全国の近畿日本ツーリスト各支店で現金と同じようにご使用いただけます。

- ★毎月の積立ては3,000円から、月々わずかなお支払いで、大きな旅が実現します。
- ★積立終了後、お得なサービスをプラスした旅行券をお渡します。
- ★積立期間は6カ月から30カ月まで、ご希望の月数を自由に設定できます。
- ★お支払いコースは3種類。ご予算や旅のプランに合わせてお選びください。
  - 1). 毎月払い
  - 2). ボーナス併用払い
  - 3). 一括払い
- ★お支払いは全国の銀行、信用金庫、郵便局のご指定の口座から、便利で手間いらずの自動引落し。もちろん人持参払いでも構いません。
- ★旅行券の額面は50,000円・10,000円・5,000円・1,000円の4種類を取り揃えています。

お申し込み・お問合せは—上本町支店 TEL06-764-4151

近畿日本ツーリスト

△万葉の大和路を歩く会「み返し」  
すまろ高田・田原と菩提山 11月17日  
△集合近畿近鉄高の駅明9時  
△コース◇高の原→初太郎→正隆寺→田原西陵→志賀島→草→太安萬昌島→田原西陵→光七天皇陵→高円山→近鉄奈良駅約7時、講師武蔵川女子大学教授清原和義氏。

△万葉の大和路を歩く会「矢田の野から嘆きの半野台」 12月8日  
△集合近畿近鉄山崎バスセンター9時30分  
△コース◇山崎→山崎→寺田寺→矢田丘陵園→磯部台→松尾寺→白石畑→三里王塚→長原王塚→古樽内塚→王塚→近鉄平群駅(約6時) 講師武蔵川女子大学教授和田喜寿男氏。

△お知らせしました情報につきましても詳しく知りたい方は各支店係員まで直接お電話でお問い合わせ下さい。

△お知らせしました情報につきましても詳しく知りたい方は各支店係員まで直接お電話でお問い合わせ下さい。

「沿線ハイキングガイド」は関西の私鉄沿線を中心に各社が企画した山行例会などの情報をお知らせするコーナーです。今号は滋賀方面を歩いた各社の情報はありますが、このほか各山岳会の公開イベントや歩け歩け大会など、又各支店体の企画した文章、歴史散歩などありましたら併せて掲載します。

「新ハイキング」までお送り下さい。掲載料は無料ですが、常利目的の場合は有料(二件3,000円)となります。次号掲載は1月、2月の分の情報です。原稿締切10月末日まで、原稿は3月、4月分の情報を、締切12月末日まで、原稿はパンフレット、チラシなどを説明させていただきます。尚紙面の都合で掲載できない場合もありますので、その際はご容赦下さい。

「トリカブト」の毒成分が、花の色を美しく、香りをつけてくれる。その毒成分は「トリカブト」の根から抽出され、花びらに塗られていく。この毒成分は「トリカブト」の根から抽出され、花びらに塗られていく。この毒成分は「トリカブト」の根から抽出され、花びらに塗られていく。

# せせらび

たのしかった山行の思い出や記録。四季の自然情報など。常時投稿下さい。  
1行15字詰20行以内。

## 題字・小林玻璃三

6月20日、梅田のシネマ・ヴェリテで「イヌワシ風の巻」を見る。7年間にわたってイヌワシを追いつけた映画だという。鈴鹿山脈の天空をゆったりと飛翔する姿は、私を感動の虜にした。景物を見つけた瞬間、アツという間の瞬間下。狩りをする時の目にも止まらぬほどの早業。果狩り、巣立ちの様子など、スクリーンに見入った。人間が巣に近づきすぎると、いとも簡単に巣を放棄し雛を見殺しにしてしまったり、生まれた二羽の雛のうち、一羽しか巣立ちをしない

こととらえていた「日本は生き残れる筈が誤まり、一羽しか育てられないのではないか」といふ。イヌワシがいつまでも舞い続ける大自然があることを願わずにはいられない。  
（筒尾 千早）

6月23日、梅雨の晴れ間を狙って、夜間登山に出かけた。場所は大阪と奈良の県境の葛城山。一寸先は闇という言葉がぴったり合ふ。夜の山の恐ろしさを思い知らされた。標だったから難なく歩ける所が、急斜面でも登っている

ような感じだったし、間違ふことのない道でも自落としてしまい、ちよつと道で止まった。空には星が降り、1000万ドルの夜景、感動の御米光と酒造こんで出かけたのだが、午前2時からからポツポツと冷たいものが。夜間登山はやはり梅雨明けにしようとして強く決めた。  
（遠谷 肇司）

8月15日、奥只見の恋ノ枝川を漕ぎ平ヶ岳を登った。恋ノ枝川より太流左岸沿いの踏跡をしばらく歩き、小さな支流を2つ越えたあたりから入渓。北面の沢だけあってさすがに水は冷たい。清水沢出合から美しいナメが多く現れる。三角沢を越したあたりでバークする。只見の沢の精(岩魚)に御面会を試み、釣り糸をたらしなが無視され、餌を吐き出すことにした。この沢最後の太滝40mナメ池を左岸からヒヤヒヤ気分を登り最後のツメをキープこきし、息を吐きかぬ急斜面を登り切るとそこは別世界。湖ノ池だ。少し登ると草ヶ岳頂上だ。頂上も草原になっており、木道に腰を下ろし通行禁止に静いしれるひととき。湖ノ池下りに再びバーク。3日目の山。  
（竹内 隆雄）

7月11日、富士山に登ってきた。朝7時大股突の「ひかり」はビジネステラスーツの中にドク靴は異様。いつもは暇やかな日氏はこのときら節かであった。夏休みに入るとこつた返しの富士山5合目も、数人の若者集団が来ていただけで本当に静かだった。山頂にちよつとよく整備され、雲の上を登るようでも実に気持ちがいい。どこまでも続く青い空。眼下に芦ノ湖が見えた。砂漠を縦にたないたような富士山には二度と登りたくないとN様は言っていたが、のんびりと眺望の素晴らしさを羨しみながら登るのは悪くない。翌日は5メートル先が見えないガスのため

## （筒尾 千早）

## （遠谷 肇司）

いだらうと尾屋谷(火谷) 廻行が選ばれた。バスを降りると冷気がひんやりと感じられた。小雨が降っていた。足尾谷はツボクリ谷出合いから尾越までが標心部なので期待してはたが実際に歩いてみると沢沿いの道はわずかで大きな滝壺が3〜4箇所もあって、そのうち1箇所はクサリで降りるところがあった。小雨が本降りになって、汗と雨でみんな濡れネズミで歩いた。  
（村田 賢俊）

沢歩きで沢沿いに進行するのであるが、安全な登山道を選んだので思わぬ急登を繰り返して大汗をかいてしまった。歩いてみて逆の尾越からのコースはしんどいと思つた。  
（村田 賢俊）

1「せせらび」欄は白田様機です。日頃の山行の報告、思い出、感想など。又山歩きやハイキングなどについてのご意見、自然に関するさまざまな情報をお寄せ下さい。今日号は投稿が少なくてわずかにページしかありませんが、写真を載せることにページを増やしてまいります。1行15字詰で20

行以内(3000字程度)で常時投稿可。  
○「山の会」会員登録「広告欄」2ページ分設定しています。今月号はありませんが、次号より新設したいと思えます。会員登録を考慮しておられる山の会はどうぞご利用下さい。1行15字詰で20行程度で原稿をお寄せ下さい。次号掲載は12月末日迄に、(広部)は一件に付3,000円。  
○「サービスチェーン」は新ハイキングクラブ関西(SHC関西)に登録、協定して頂いている旅館、山小屋などです。各館のサービスの内容はそれぞれ違いますがあります。宿泊山行の折は是非ご利用下さい。その際は必ず電話か往復ハガキで予約をして下さい。予約の時は会員であることを旨い料金を確認して下さい。(ご利用のときは会員登録を持参して下さい。)  
尚ほ者の方で、お気に入りの旅館、山小屋などありましたら推薦理由をお寄せのうえ、当会までハガキでご連絡下さい。

汗をたっぷり流せる温泉と 在ヶ崎牛のシヤブシヤブ ハイカーの宿 ナガサキロッジ 〒949-21 新潟県中頸城郡 妙高高原町の平湯泉 電話 0255-9612261	高山の花、温泉の花 妙高山と火打山 百名山を二つ登れる山小屋 黒沢池ヒュッテ 〒949-21 新潟県中頸城郡妙高高原町 電話 0255-8612261	休養食入浴も歓迎 10名以上マイクコバスで送迎 箱根仙石原温泉 福島 館 〒250-06 神奈川県足柄下郡 箱根町仙石原139 電話 0460-1419041	山小屋風のペンション 南アルプス北部・八ヶ岳登山 山女釣り(中央線日野春駅より 送迎車行) フローラル・ヒュッテ かぶと 村 〒408 山梨県高根町下黒沢 2424の4 電話 0551-4712541
---	---	---	--

どこへ行こうか  
SHC関西サービス  
チェーンへ

○サービスチェーンを利用するときは、電話か往復ハガキで必ず予約をして下さい。  
○予約のときに料金を確認して下さい。

名峰・二岐登山 小白峰・大白峰・甲子山・冠山への観光客専用1名でも最寄り駅まで送迎(無料) 富士山・五岳山と内線  
福島・二岐温泉  
日観連 大和館  
〒949-16  
福島県福島市東栄町二岐温泉  
電話 0244-812048  
F 0244-812481 247055

秩父鉄道「クレーン」券も  
東武鉄道「利用」できます  
秩父 不動の湯  
〒368  
埼玉県秩父市山田243-2  
電話 0494-2311126

**山行計画 SHC関西**  
新ハイキングクラブ関西

このページの山行計画には、「会員に限る」と特記してあるほかは各団外の方でも参加できます。一人ずつ往復ハガキに記入例によって出発の7日前までに到着するよううに届けて申し込んでください。「費用」のほかに参加者数代その他の費用代表費を頂くことがあります。  
山行申し込みは必ず後参加できなく、この場合に急いで係に連絡してください。体調の悪い方、幼児と飛び入りはお断りします。例会の参加費は各団に連絡がつかずかかれています。出発直前の関係不慮料(日額50円)・夜行日割りの場合は2日に1000円を支出して頂きます。(カ・O年休会費は別)。  
任意保険特約内容は次の通りです。

死亡・後遺障害保険金額 1000万円  
入院保険金 5000円  
通院保険金 2500円

保険の対象は集合時から解散時まで。事故があった場合は解散時までに申し出て下さい。この保険は特約しないものは次の通りです。  
①レンタル・木小舟などのアイゼン・サイクル・ハンマー・ワカンを持参することを明記した山行。②スキー使用の山行。③登山・氷雪登山を目的とした山行。④宿舎場所内の事故。(詳細は係まで)

(記入例)  
(往復ハガキを使用)

**山行き申込み書**

山行  
期日  
住所  
電話番号  
氏名  
会員番号  
(各自でない方は団外記入)  
生年月日 (年齢)  
緊急時の連絡先

返信用ハガキの宛て名欄にご自分の住所氏名を記入してください。

京都北山歩き  
天ヶ岳(一般向き)  
期日 12月1日(日)日曜日  
集合 叡山電車山出町駅9時  
コース 山出町駅→寺尾山→天王  
坂→天ヶ岳→大原山出  
町駅(歩行4時間)  
費用 約1000円(交通費)  
地図 昭文社「京都北山」  
係 石田智徳  
申込み 千61000(城陽市寺  
田大群10の10村田まで  
紅葉がきれいです。コースは登  
槽され歩きやすい道です。雨天中止

国見岳(やや偏南向き)  
期日 12月1日(日)日曜日  
集合 近鉄湯の山温泉駅9時  
コース 湯の山温泉駅→湯の山  
温泉→煮瀧不動→廣内小  
原→国見不動→国見岳  
→国見岳→国見岳→御在所  
新山(平道)→一の谷  
御在所山の家→湯の山温  
泉→湯の山温泉駅  
費用 約1000円(交通費)  
2万5千円(御在所山)  
昭文社「御在所・熊ヶ岳  
○稲垣逸夫 ○新野圭夫

日本最高位の温泉 (2400m) 立山・室堂 みくりが池温泉 連絡先 〒930 富山県五箇木広町 0764141-0434	ハイキングにノースキーにノ バス 期の湯平床下 026913412423 東京本社・東京都新宿区新宿3 12015(新大塚2ビル) (池袋スボーワサール) 0313334110211	信越線尾花駅下車バス20分 黒部山登山・苗名滝ハイキング 大自然が楽しめる四季の山 シャレー 黒姫 千389113 長野県上水内郡信濃町黒姫高原 026215513171	館内より日本カモシカ毎日20頭 以上と、北アのお形観察、北ア 全体の山歩き、春は山菜等 豊富です。露天風呂 あるすすいん 高山荘 千332 長野県上高井郡 高山村山田牧場・奥山田温泉 026214212527
---	---	---	---

申込み 千51900(給城市大  
久保町2065福道まで  
冬山装備。天候によりコース変  
更もあります。雨天中止

文庫歴史ハイク1  
二上山(一般向き)  
期日 12月1日(日)日曜日  
集合 近鉄当麻寺駅9時30分  
コース 当麻寺駅→当麻寺→若原  
峠→二上山→東谷寺→叡  
山→二上の太子駅  
費用 約1000円(近鉄別活  
野橋駅迄)

コース 時30分  
京都駅→杉坂口→供御  
坂→半原山→若原峠  
→若原峠→持時寺  
白滝橋→出町駅(北大  
路駅)  
費用 約1500円(交通費)  
地図 昭文社「京都北山」  
係 石田智徳  
申込み 千51000(城陽市寺  
田大群10の10村田まで  
北山彩を見ながら歩きます。防  
寒着を忘れずに。雨天中止

新ハイキングクラブ関西  
入会のご案内  
このページの山行計画を通じて  
正しい山歩きを、たのしい山仲間  
たちといっしょに味わいませんか。  
か。リーダー(係)はすべて無償  
の奉仕で、各自で切符を買い茶代  
を払い、宿泊料もすべてワリカン  
です。  
新ハイキングクラブ関西の活動  
は、今始まったばかりですが、東京  
本部の「新ハイキングクラブ」は  
昭和55年発会以来41年所も好評の  
うちに活動しています。会員数も  
延べ二万人以上なのばかりです。

東京の「新ハイキング」誌(月  
刊)の別冊関西版としてスタート  
することになり、「新ハイキング  
クラブ関西」を発会しました。  
今期刊号から早速、山行計画を  
組み実施します。まだ計画はすく  
ないのですが、徐々に活動の輪を  
広げていきます。  
あなたも新ハイキングクラブ関  
西に入会してのたのしい仲間にな  
りませんか。会員には毎月「新ハイ  
キング」別冊関西の山(年間6誌)  
をお届けします。会員はこのペー  
ジの山行計画に参加できます。  
入会金 500円(ハッジ代  
年費 2500円(送料共)  
です。切手代500円をお送りにな  
れば見本誌1冊をさしあげま  
す。  
新ハイキングクラブ関西入会申  
し込みはこの雑誌に挿入の縦書用  
紙をご利用ください。  
①本誌のタイトルが当初案内の  
「関西周辺山とハイキング」か  
「入会案内」になりましたことお詫  
び申し上げます。  
②東京の「新ハイキング」誌を定  
期購読者の方は03(391  
5)8110まで電話ください。

あなたのふる里になりたい スキー場まで歩いて1分 白馬ファミリアペンション 和 田 森 千39199 長野県北安曇郡 白馬村八方和田 0266117215351	八ヶ岳西北麓の中心地 59年秋新築完成全館個室 木の香が新築生まれ水音 オーレン 小屋 1泊2食付 4500円 4月～11月末開校 〒391102 小笠原 〒026617211279	日本唯一の女人専用の山小屋 (百名山)の登山口 稲村ヶ岳女人コースもあり 温泉・名水の里 旅館 松の園 屋敷八 1泊2食付 7,000円から 〒63304 和歌山県 奈良県吉野郡天川村 074761410309	九州の最高峰、日本百名山 宮之洞岳(一番近い宿) 屋久島安房登山口 ホテル 磯 辺 荘 屋久島空港からバス10分 〒89143 鹿児島県 鹿児島県毛勝郡久野町安房 099741613021
--	--	---	---